

平成四年 七月十八日 越谷市郷土研究資料

越ヶ谷言葉

方言と訛集 改補編

越谷市郷土研究会

理事 山崎善司

平成四年 七月十八日 越谷市郷土研究資料

越ヶ谷言葉

方言と訛集

改補編

越谷市郷土研究会  
理事 山崎善司

## 始めに

私達ち、越谷市内に生れ育ち居住する者に取って、「越ヶ谷弁」は、今はその大部分が失はれ消えつつあるが、一步越谷の地を出た時に、何の氣無しに口から出てくる「越ヶ谷弁」は、其の田舎臭さから、馬鹿にされ笑われ、其の結果、人前で喋る事が恥ずかしくて無口となり、或る時は疎ましく、又或る時は苦痛とも感じられた時が有った。

近代化の波による人口の急増は、言葉も又標準語化し、同時にテレビの普及に伴い「越ヶ谷弁」が近年急速に消えつつある、今ではこれらを思い返す時、その泥臭さは又郷愁ともなり懐かしさが感じられる次第です。話し言葉は記録には残らないので、一度消えてしまえば返らぬものとなります。「越ヶ谷弁」が通じる人達の元氣な内に記録されねばと思ひ立ち筆を取った次第です。

先人達が書き残した方言集は、思い付く俣の極く少数の語句に留まり、其の一隅のみしか窺う事が出来ず、焦燥感を感じます。何時の日にか私の手で「越ヶ谷弁」の全貌が窺える物を残して置きたく考えていた。此処に「越ヶ谷言葉・方言となまり集」と題して約千七百語を選び出し、その意味と通状の使用例を記し、誰が見ても一目で解る様にした。勿論この中には、「標準語」と言えるものが沢山有り、促音語や接頭語・接尾語を付けたもの、特に関東・東北に広く使われている「べえ」を付けたもの等数多く有るが、「越ヶ谷言葉・方言なまり集」では、標準語であつてもその意味合いや使われ方が違うもの、古語で今日では使われないもの、越ヶ谷で多く使われていて捨て難いものは残した。

越谷市の中央に流れる元荒川を境に、古くは東側は下総の国、西側が武蔵の国であり、越谷市はその接点にある。又、日光街道・奥州街道の宿場町でもあり江戸と東北地方との交通路に当たり、それぞれの言葉が混沌と混じり合つて「越ヶ谷言葉」が構成されている。

その為に東端の新方・増林地帯と西端の萩島・出羽地区では、お互いに使われない言葉がある。越ヶ谷町を基準として選択した。越ヶ谷は商家・職人・百姓・地主と皆それれに言葉が違うので、同一意味の言葉を二ヶ所に記した。(例、いらくえら)

改補編では、依り解り易い様に、何れも標準語だが、捨て難いものには 1、親兄弟奉公人等の呼び名、身体に関するもの内、越ヶ谷で多く使われて居たものを別項とし、又接頭語、接尾語、なまって変化したもの、越ヶ谷弁で無くてはならぬものに「べえ・だんべえ」がある、特に頁を割き別項とした。

次に、嘗て、越ヶ谷の野山に生息していた、動物・爬虫類・昆虫・魚・鳥等を、記憶の限り選り出して、出来るだけ「越ヶ谷弁」で記載した。

以上の如くの基準で選出したが、言葉は其の人により発音が異なり(例、いゝえ・いゝゆ・ひゝし)選択に困難したがどちらも捨て難く二重に記したものも有る。

この外にも沢山選に漏れた言葉が有る事と思うが、取敢えずと言う事で編集を終了した次第です、消え行く「越ヶ谷言葉」を郷愁を以て懐かしむ方々も数多く居る事と思われませんが、是れ等の方々のご参考にも成れば幸甚の至りです。

# 目次

はじめに

方言となまり集

改補集  
父母・兄弟・男女

身・体

気・持

接頭語

接尾語

変化

色

動物・昆虫・魚・鳥

鳥魚昆虫

動物・昆虫・魚・鳥

おわり  
に  
子  
の  
遊  
び  
遊  
び  
遊  
び  
遊  
び

# 1  
.  
.  
.  
.  
.

# 2  
.  
.  
.  
.  
.

# 3  
.  
.  
.  
.  
.

# 4  
.  
.  
.  
.  
.

1

4 4

5 5 5 5 5 5 4 4

5 5 5 5 5 5 6 6

6 5 5 5 5 5 6 6

6 5 5 5 5 5 6 6

6 5 5 5 5 5 6 6

6 5 5 5 5 5 6 6

7 7 6 6 6 6 7 7

7 7 6 6 6 6 7 7

8 8 8 8 7 7 6 6

8 7 3 0 0 7 6 8 7 7 6

以上

あ

1  
 ああかい  
 ああかい  
 ああねえ  
 ああねえ  
 あいけんちい  
 あいだけんど  
 あかまんま  
 あかまんま  
 あがりつばな  
 あさづくり  
 あじあみ  
 あせつかき  
 あせてみせ  
 あそんべえ  
 あたる  
 あたんねえ  
 あつけねえ  
 あつたらことした  
 あつちのほう  
 あてげえぶち  
 あてっこすりやがる  
 あてにしねえ  
 あてんなんねえ  
 あとっしやり  
 あとっぺし

ああ潰ゆい  
 本当かしら  
 合計が合わない  
 割りに合わない  
 じやんけんほん  
 話は変わるけど  
 小豆を入れて炊く祝御飯  
 いぬたでの実で桃色の粒  
 縁側や座敷の入口の端  
 朝食の前にする一仕事  
 船に取付た大綱で捕る  
 汗の多く出る体質  
 合わせて見なさい  
 遊びましょう  
 食当たりで腹が痛くなる  
 食当たりを起こさ無い  
 訳なく簡単  
 もつたいない事をした  
 向こうの方でしょう  
 適当に見繕って支払う  
 其れと無く当て付けて言う  
 頼みにしない  
 当てに成らない  
 後すさり  
 後押し

虫に刺された時に、ああかいと、言つて掻く  
 嘘が感じられる時ああかいと言つて掻く真似をする  
 幾らやっても計算が、ああねえ、明日にすんべえ  
 此の仕事安くて、ああねえから、止めちやべえ  
 じやんけんのこと、あいけんちいちつちまきちい  
 あいだけんど、此の間の話は如何うなつたべえ  
 うるち米に小豆を混ぜて炊く御飯・あかまんま  
 ママゴトに赤御飯と見なす草の実で桃色の粒々の実  
あがりつばなに、居ねえでもっと中え入れ  
 暗れえ内から、あさづくりで、精えがでるねえ  
 川を仕切り船に取り付けた大綱で、上り魚を捕る漁法  
 俺らああ、あせつかきだから、暑っいは苦手だ  
 合うかどうか、あせてみせ、びつたんこた  
 学校帰えつたら、あそんべえ  
 腹が痛えのか何んか悪い物食つて、あたたな  
 何を食つても、あたんねえから、でえじょうぶだ  
 大騒ぎしたが、あつけねえなく、終ちやつた  
 良い着物汚しちやつた、あつたらことしたなあ  
 何方へ行つたかなあを、あつちのほうだべえ  
 御苦勞さん駄賃は、あてげえぶちだよ  
 人のめえで、あてっこすりやがる、にくたらしい奴だ  
 人など、あてにしねえで、自分で勉強したらよかんべ  
あてんなんねえ、から、駄目な時の、準備も仕て置け  
 後が塀で、これ以上、あとっしやり、できねえよ  
 荷車が重めえから、あとっぺしして、くんろ助かるよ



いかげん  
いかねえ  
いかねえか  
いきあつちやつた  
いきおいつける  
いきつかねえ  
いきつかねえ  
いくかな  
いけねえ  
いけねえ  
いごかす  
いごかす  
いごく  
いたかんべえ  
いたつべら  
てじくつた  
いったかあ  
いったんかあ  
いっちよめえ  
いっつぎ  
いっつぎ  
いっつけちやう  
いっつてくつから  
いっつてくんろ  
いっぺえ  
いっぺえつこ  
いてええ  
いねええよ  
いねええよ  
いまあに  
いまいくよ

相当沢山ある  
行かない  
行きませんか  
行き逢つてしまつた  
精力を付ける  
到着しない  
慣れて居無い  
行くからよ  
行けない  
駄目た・止めなさい  
動かす  
動かない  
動く  
さぞ痛かつただろう  
小さい板片  
指で触る  
行つてしまつたか  
行つたのですか  
一人前  
伝言の言ひ継ぎ  
告げ口をする  
行つて来るから  
行つて下さい  
沢山・うんと  
溢れる様に一杯  
痛い  
居ませんよ  
居ないと言つてるのに  
其のうち  
直ぐ行くから

いかげん、有るじあねえか、こんじああ間に合うよ  
俺らあいかねえけど、お前めら行くなら勝手に行け  
遊びにいかねえか、行くよ、ついてつてくせいせえ  
今朝あの人に、いきあつちやつた、不味かつたな  
いきおいつけて、走んねえと土手の上がねえ  
一時間じゃ、まだ、いきつかねえよ  
東京は、いきつかねえから、一人じゃ行けねえよ  
今、いくかな、待つてろよ  
此の道は町には、いけねえよ、川で行き止りだ  
そいつは、いけねえ、後で、馬鹿、見んぞ  
車が邪魔だから少し、いごかしてくれ  
昨日から車が故障して、いごかねえ  
車古いけど、いごくのか、当り前えた立派なもんだ  
大怪我だ、こいじやいたかんべえ、血が出て  
何かいたつべら、捜して来い、鳥小屋にぶつけるから  
着物、いじくつたべええ、袖が汚れてる  
学校へ、いっつたかあ、さつき行つたよ  
電車に乗つてもう、いっつたんかあ、乗れたかなあ  
ちっちゃつけえのに、いっちよめえの、格好してる  
今夜は会合だ、組の者に、いっつぎだよ  
先生に、いっつつけちやうからな、止めるよ  
呼んでるので、いっつてくつから、待つててな  
御苦労だが、いっつてくんろ、頼むよ  
じゃがいもなら俺らちに、いっぺえあるよ  
大負けで、いっぺえつこだ  
けつつまづいた、いてええなあ、血豆が出来てる  
おっかちゃん居るか、今は、いねええよ  
何度来ても、いねええよ、居ねえよ  
俺にも良い服買つてよ、いまあにな、正月が来たら  
出掛けるよ、遅いな、いまいくよ、待つててな



いまなああ  
いもち  
いら  
いらああ  
いらおせた  
いらなつた  
いんがみた  
いんねええ

今直に  
家持ちで分家した家  
沢山に  
居るよ  
沢山揃まえた  
沢山実つた  
困りはてる  
いらぬい

う

ういき  
ういる  
うかしんぼ  
うきしやつた  
うす  
うすつき  
うすつくな  
うすつくら  
うすつくらついで  
うつちやつちやつた  
うめえ  
うめえもんだ  
うめえんだがなあ  
うらつぽ  
うらのち  
うろへんじ  
うんだけんど  
うんでええ

植木  
植える  
釣りの浮き  
浮いてしまつた  
嘘(うそ)  
嘘を付く人  
嘘をつくな  
嘘の話し  
好い加減な事言つて  
捨てちやつた  
美味い  
上手だ  
有難いんだがなあ  
先の方  
裏の家  
うわの空  
それはそうだけど  
なんだああ

早くしろ行くぞ、いまなあ、待ってるよ  
近頃本家より、いもちの方が、ふつたかつたな  
俺らちに、いら、あるよ、取りにこいよ  
みじんこなら裏の池に、うじやうじや、いらあ  
魚を、いらおせたから、買いに来い  
柿が、いらなつた、甘くなつたら呉れっかな  
駄々こねらいていんがみたよ  
其んなもん、いんねええよ、仕舞つとけ

俺んちはあそこの、ういきの、有る家だよ  
雪の下、ういると良い、齒の痛え時、貼ると効くよ  
魚が食い付いたかなあ、うかしんぼが、動いてる  
ほれ浮きが、うきしやつた、魚が食い付いてるぞ  
あの人の話は、うす、ばっかで真ともにやあ聞けねえ  
あの人、うすつきだ、泥棒の初まりだべえ  
本当か、うすつくなよ、俺らあ、うすなんか付かねえ  
此の話しは、うすつくらなもんか、ほんとだよ  
又うすつくらついで、今度は騙されねえぞ  
あれどうした、うつちやつちやつたよ、失敗えしたな  
此処んちの飯は、うめえな  
お前えの絵は何時見ても、うめえもんだなあ  
其うだと、うめえんだがなあ、無理なら良いよ  
丸太の、うらつぽに、氣い付けろ、危ねえよ  
何処いってた、うらのちで又、くつちやべつたな  
話はしたが、うろへんじだつたから、どうだかな  
うんだけんど、俺の言う事も聞け  
うんでええ、文句があるか

うんとあらあ

沢山有るよ

其んなもの、俺らちにだつて、うんとあらあ

え

ええあんばえ

丁度良い具合

風呂の加減は如何うだねええあんべえだよ

ええきなもんだ

自分良がりだ

人の気も知らねえでええきなものだ

ええきび

良い気味な気持

あの子先生に叱らいたいいきびだ

ええくだ

嫌ってあさける言い方

嫌な人に会った時にええくだと言つて頭をしやくる

ええよ

宜しい

其んな事しなかつたつていいよ

えかげんそう

おおよそで正確でない

あの人のはいかげんうだからきちんとなんねえ

えぐい

苦く渋い様な味

此の野草は食えるけん、えぐいから、良く湯揚げ

えげすかねえ

あまり好きでない

あ奴つはえげすかねえ顔見んのもやあだ

えげつねえ

条理に端づれた汚い事

そんな、えげつねえ事、俺にや出かねええ

えぱりつちらす

側の人に威張散らす

一人であんなに、えぱりつちらす事、ねえのに

えばる

威張る

其んなに、えばるな、てえした事もねええくせして

えびつ

形が歪む

此の指輪、えびつ、じゃねえか、はめにくいよ

えぶい

煙い

煙りが、えぶいから、窓を開けてくいせえ

えれえひと

人より優れた人

あの人は何でも良く知つて、えれえひとだ

えれえこと

大変な事

えれえことした

お

2

おい

私し・俺れ

いいもの持つてんな、おいにも、見せろよ

おいらあ

俺達・私達・自分の事

手前え等何してる、おいらあ、なにもしていねえ

おいてけぼりくう

置かれた俵行かれる

皆の後に、しっかり付いて行け、おいてけぼりくうぞ

おいねえ

駄目です

其んな事しては、おいねえよ、とうちゃんに怒らいる

おおかん

往還路

おおかんで、遊ぶと危ねえよ

1

おおさのかんどりさま・大沢の香取神社

今日は、おおさのかんどりさまの、祭りだ

おきしやう  
おくんなせえ

おけら

おごうこ

おごもさん

おこわ

おこらいる

おこらんね

おこんねえ

おさまりつかねえ

おさまんねえ

おさまんねえ

おさまんねえ

おさめえ

おしつけえす

おしてきた

おしるし

おじやんだべえ

おせええ

おせええ

おせてやる

おせる

おちおちしてらんねえ

おっかけっこ

おっかねえ

おつけ

おつくがって

おつくなし

おっくるげえ

目を覚ましてしまふ

くださいな

お手上げ(おけら虫)

漬物・香のもの

乞食

赤飯(餅米にささげ豆)

叱られる

叱られない

叱らない

決着が付かねえ

捕まらない

納まらない

話が付かない

捕らえる

押し返えす

抗議をしに押しかける

僅少な形ちばかりの物

失敗に終る

遅い

教える

捕まえる

教えてやる

知らせる

ぼやぼやして居られない

子供の遊びで鬼ごっこ

恐ろしい

味噌汁

一つも面倒でない

転ぶ

やっと寝たのに、側で騒ぐと、おきしやうよ

店屋で買う意志を伝える時、おくんなせえと、言う

競輪で負けちゃって、おけら、だよと、両手を上げる

飯のおかずは、おつけと、おごうこか

店先に、おごもさん来たよ、汚ねえから早く帰えせ

おこわ、炊いたりして、今日は何の祝え事だ

悪戯べえして、とうちゃんに又、おこらいるぞ

此処で遊んでも、おこらんね、かったよ

もう、おこんねえから、泣くな

相統で揉めちゃって、なかなか、おさまりつかねえ

魚、捕まったかね、何んにも、おさまんねえ

引越しの荷が多くて、部屋に、おさまんねえ

喧嘩どうなったね、まあだ、おさまんねえ

お巡りさんは泥棒を、おさめえるのが、商売たべえ

負けてるな、威勢つけて、おしつけえせ

子供の事で、おしてきた、あのかあちゃん、きつい

内祝のほんの、おしるし、ですが

色々と計画していた様だが、これでおじやんだべえ

おせええな、何か有ったかな、来る筈なんだがな

お前えは、出来るんだから、おせえて、やれよ

其の犬おっかねえから、おせえて、くいせ

出来ねえのか、おせてやるから、やってみろ

何んか有ったら、おせる、かな

借金一杯有るんで、おちおちしてらんねえ

つかまると鬼になる遊び、おっかけっこして、遊んべ

悪い奴に追っ駆けらいた、おっかねえよ

おつけと、こうこで、飯食っちゃい、片付かねえ

おつくがって、なかなかやんねえ、困ったね

雨でも、おつくなしで、買い物が出るぞ

危ねえから駆けんなあ、おっくるげえぞ

1

おつそろしい  
おつそろしい  
おつつぐ  
おつつけねえ  
おつつけるべえ  
おつつけちやうべえ  
おつつけとけ  
おつばるねえ  
おつぶてる

感心する  
恐ろしい  
追い付く  
追い付けない  
押し付けましよう  
添わせる  
片方え寄せておけ  
追い込みで頑張ってるね  
水に浸す  
無理に性交する  
おつべしよつちやつた・へし折つた  
一昨日

1

おとついで  
おびしや  
おひまち  
おぶいばんてん  
おふさのやくさま  
おめえのか  
おめえ  
おめえり  
おめえのほか  
おめのか  
おめらあ  
おめらつち  
おめんち  
おらああ  
おらあち  
おりやあ  
おれえ  
おれらあ  
おろし

寄合つて酒を飲む日  
収穫祭り餅をつき酒を呑む  
子供を背負う時の半天  
大房の薬師堂  
お前さんのか  
お前えさん  
お詣り  
案内  
思いの外  
お前い達ち  
お前い達の家  
お前の家  
俺れは  
俺の家  
俺れは  
俺れ達  
母屋から出る庇

1

今朝は、おつそろしく、早ええなあ  
おつそろしい、夢を見た  
負けてるが、ふんばれば、今に、おつつぐよ、頑張れ  
こう勉強が遅れちやあ、とつても、おつつけねえ  
皆して押しかけてつて、役員を、おつつけるべえ  
良い娘だから、隣のせなに、おつつけちやうべえ  
其処は通り道だから、端へ、おつつけとけ  
毎日、だいぶ遅くまで、おつばるねえ  
種もみを、おつぶてるから、ねえ床に水張つておけ  
あの娘を物置の陰で、おつべししちやつた  
すげえ事故だな電信柱を、おつべしよつちやつた  
おとついで、火事は、訳わかんねんだとよ  
春の行事、今日は、おびしやで、酔つ払らつちやつた  
秋の行事十月十日は、おひまちで、あんびん餅をつく  
背中が子供の分まで広く袖が大きい、おぶいばんてん  
四月八日は、おふさのやくさままだべえ、行くよ  
此の荷物、おめえのか、そうだよ俺んだ  
おめえ、里帰りに行くんか実家の親御さんに宜しく  
朔日十五日はさいじんさまに、おめえりに、行く日  
おめえのほか、軽い怪我ですんだ  
おめのか、早く終つたなあ、さあけえるべえ  
おめらあ、遊んでんなら、少し手伝つて行け  
おめらつちの、方じやあ、今日は休みじやあねえのか  
帰えつたら、おめんちで、遊んべえ  
おらああ、其んな事知んねえよ  
帰えりに、おらあつちに、来ねえか  
おりやあ、誰か一緒にやねえじや、やあだ、怒らいる  
おれえ、よおう、使えに行つて来つかんな  
おれらあ、学校がすんだら、皆で行く所あんだよ  
雨が降つて来た、おろしの、下へ、とつこめ

おんげえ  
おんだす  
おんでる  
おんなつぶりええ  
おんまかす  
おんまける  
おんまげる

俺にも  
追い出す  
家を出る  
女らしくて姿格好が良い  
負かす  
こぼす  
折り曲げる

良い話だべえ、おんげえにも、聞かせてくいでせえ  
嫁、おんだす、様なまねすんな、げええぶんわりい  
婿さん、勤まんねえで、今に、おんでるべえ  
おんなつぶりええな、何処の娘っこだ  
昨日の将棋は、うそつきだ、今日は、おんまかすぞ  
汚れた水は、流しに、おんまける  
理屈をごね回して道理を、おんまける、悪りい癖だ

か

1 1 1 1  
かかり  
かかりまけ  
かくねる  
かくらん  
かげもかたちもねえ  
かさいらず  
かしきばん  
かせる  
かせる  
かせろ  
かたちんば  
かたつぼう  
かたつぺら  
かつきり  
かつくらす  
かつこええ  
かつたくる  
かつたりい  
かつたりい

生活費  
経費のかかり過ぎ  
身を隠す  
日射病  
跡形が残っていない  
雨の日傘が無様な程の額  
煮炊きをする人  
伝染する  
皮膚がただれる  
食わせろ  
左右の形が合わない  
方一方  
二つに割った片方  
丁度びつたり  
げんこでコツンと殴る  
姿形が良い  
勝った者が取る  
疲れてだるい  
少し足りない

大世帯だから、かかりが、大変だべえ  
あんじゃあ、かかりまけたなあ、儲けなんかねえべえ  
探しに来たから早く、かくねるべえ、めっかんなよ  
帽子かぶらねえと、かくらん、するぞ  
此の辺にあつたはずだが、かげもかたちもねえ  
あいつの、おでこは、かさいらずだ、雨の日は良いな  
大勢の客で、かしきばん、大変だ、御苦労なこつた  
ロックが流行っているがお前も、かせたな  
漆の木は、皮膚に付くと、かせるぞ、長袖着て行け  
美味そうに食ってるなあ、俺にも、かせろ  
かたちんばの、下駄履いてる、みっともねえ  
かたつぼうが、勝てば、かたつぼうが負ける  
鯉の刺身が食いてえ、かたつぺら、買ってこい  
丁度一升、かつきりで、残り無しだ  
幾ら言っても、解んねえと、かつくらすぞ  
軍艦が煙はいて列んで走る活動写真で、かつこええぞ  
其れ如何うした、今、かつたくつてきた  
朝からづいぶん、歩いたから、かつたりいな  
足りるかな、かつたりいな、俺の財布を使えよ

かがつちり

かつてる

かっぱく

がっぽり

がっぽり

がばたんち

がばつと

かまああな

かまあねえでくいせ

かまあかける

かまける

かまち

かまねえ

かまねえよ

かまねえよ

かまや

かやえぶし

がら

がらあねえや

かわつべり

かんしやくだま

かんつける

かんな

かんべんな

かんます

掴んだ物は離さない  
比較して勝る

かき分ける

噛み付く様

一度に沢山

傷付けて負かす

川端の家

一度にそっくり

かかわるな

かまいなくいて下さい

引ッ掛けて誘導する

忙しさに気を取られる

玄関の上り口の太い材木

構わない

どう致しまして

干渉しない

へつついのある小屋

蚊遣り燻し

わざと・意識的に

話にもならない

川の端

いらいらが爆発する癖

目と目が敵意で合う

何々するから

謝る時に云う

掻き回す

兄貴はパッパアだが、捨弟は、がつちり、してるよ  
あの夫婦、かああちゃんの方が、かつてるよ  
ひつちらかしてるから、其の辺、かつばいて、座れよ  
あの犬に、がつぽり、やられた、かまつたんだべえ  
今度こそ、がつぽり、儲けてやる

コマを相手のコマに当て負かす時、がつぽると、言う

かばたんちで、呼ばつてるよ

大穴で一度にがばつと儲つて今迄の損を取り戻した

子供がうるせえから、かまああな、外で遊べ

かまあねえでくいせ、今すぐ、けええるから

かまあかける、みんな、喋つちやつた

落ち付けよ、かまけるから、けつつまづくんだよ

捨赤味無節の、かまちじやあ、てええしたもんだ

何も、かまねえ、けんど、ゆつくり遊んでゆきな

悪い事したなあな、なああに、かまねえよ

いつちよめえだから、何んしたつて、かまねえよ

かまやの、灰を、けえ出しておけ（糞灰は売れた）

縁側に、かやえぶし、持つて来い

痛かつたか、がらじやねえから、かんべんな

大失敗だ全く何やつてんだか、がらあねえや

かわつべりは、滑ると、つつべるから危ねえよ

あの親父は、かんしやくだまだから、下手な口聞くな

奴つら、かんつけたから、やつばで刺してやつた

いくかんな、やつかんな、とつとくかんな等

痛かつたか、がらじやねえから、かんべんな

風呂の湯はうわつかべえ、熱いから良く、かんませ

もう、何言つたつて、お前えの話は、きかねえよ

きかねえ

聞き入れない

もう、何言つたつて、お前えの話は、きかねえよ

きぐんなんねえ  
 きごる  
 きごつちやつて  
 きさんねえ  
 きせえよ  
 きちつとなあめ  
 きつい  
 きつとだよ  
 きてみる  
 きてみるってばあ  
 きゆうたつぺ  
 きりがねえ

どうしようもない  
 筋がつっぱる  
 絡み合ってしまう  
 来られない  
 来なさいよ  
 隅々迄きれいに片付ける  
 きゆうくつ  
 必ず  
 来て見なさい  
 無理に連れて来る  
 気を失う程に叩付ける  
 際限がない

く  
 くいせえ  
 くいせええ  
 くいたもんじやねえ  
 くいっかす  
 くいっかせぎ  
 くいっかけ  
 くいっく  
 くいっけねえ  
 くいったんねえ  
 くいっばぐれる  
 くいっばぐれる  
 くいっばぐれねえ  
 くいねえ  
 くいねええ  
 くいねえやろう

下さいな  
 売って下さい  
 並みの代物でない  
 食べた後の残骸  
 食べる分の稼ぎ  
 食べ残し  
 咬み付く  
 食べ付けないもの  
 充分でない  
 食いそこねる  
 生活して行けない  
 生活に困らない  
 食べられない  
 食べて行けない  
 一筋縄で行かない男

御馳走が多過ぎて、きぐんなんねえ

足のふくらっぱあぎが、きごつて、痛ええ

寄り合いの話が、きごつちやつて、どうにもなんねえ

その日は忙しくって、きさんねえ、欠席だ

お祭りには、きせえよ、一緒に酒でも飲むべえ

今日は、お客だから、きちつとなあめ

このシャツは、きついよ、いいの買ってよ

明日、又、遊んべえ、きつとだよ

早く、きてみる、面白れえテレビやってるよ

俺んちに、きてみるってばあ、兎が仔を産んだから

生意気だから、きゆうたつぺに、たたきのめしてやる

幾らあがいても、きりがねえ、いい加減にして置け

腹へった、食うもの何んか、くいせえ

店屋さんで買う時に、くいせええと、言う

一筋縄じゃあ行かねえ、くいたもんじやあねえぞ

呼んでも来ねえから、くいっかす、きり、ねえよ

昼飯時分になると必ず来て、くいっかせぎ、してる

知らなかつたから、くいっかけしか、残ってねえ

蛭を、くいっかせて、血を吸わせると良い

普段、くいっけねえ、物、食うと、腹あ壊すぞ

餌くいたのに、鳴いてる、くいったんねえ、のかな

屋の時間がねえ、昼飯、くいっばぐれるぞ

のへえのへえしてると、今に、くいっばぐれるぞ

この子は一生、くいっばぐれねえ、良い顔してる

これ腐ってて、くいねえよ、他にねえのか

不景気でこんじゃ、くいねえ

又、何かやらかしたか、くいねえやろうだから

1

くいねえよ  
 くいるよ  
 くいろ  
 くうくうしてる  
 くええ  
 くさばっこ  
 くじる  
 くせえな  
 くせえな  
 くせえな  
 1  
 くちべらし  
 くちべえだよ  
 くつくつと  
 くつちやべる  
 くつちやねくくく  
 くつちらかす  
 くつちらねえ  
 ぐつくつと  
 くつつける  
 くつばあさむ  
 くつばあさむ  
 くつばあさむ  
 くめい  
 くるべえ  
 くるむべえ  
 くれええ  
 くれええな  
 ぐれええ  
 くれっから  
 くれっせえ  
 くわいこむ  
 くわねえ

呉れないよ  
 呉れるよ  
 呉たさい  
 元氣無くぐったりしてる  
 食べなさい  
 草のはえてる所  
 指先で掻き廻す  
 臭い匂い  
 疑わしい

食べる口の数を減らす  
 口先ばかりだよ  
 気が弾んで行く  
 無駄口を良くしゃべる  
 食べては直ぐ又寝る  
 食べ散らかす  
 余り良く知らない  
 力強く  
 張り合せる  
 挟み込む  
 外す  
 暮し向きが楽  
 来るでしよう  
 包みましよう  
 下さい  
 暗いな  
 その位いなら  
 上げるから  
 九れて下さいな  
 くわえて来る  
 食べない

お前えには、くいねえよ、すぐ駄目にするから  
 良いものお前えに、くいるよ、こつちえ来せえ  
 勿体ねえから、俺に、くいろ、捨てるんだべえ  
 熱が有るんで、くうくうしてる、風邪引いたかな  
 芋焼けたぞ、早く、くええ、美味えぞ  
 球が、くさばっこに、転がってって、めっかんねえ  
 そんなに鼻めど、くじると、痛くなるぞ  
 くせえな、何んの匂いだ  
 事件に関係有りそうだ、ちよっと、くせえな

娘、見えねえな、くちべらし、だよ、子守に行った  
 向つ気ばかり強くつても、奴は、くちべえだよ  
 良い話、あるんで、くつくつと、けえってつた  
 女達が井戸端で、くつちやべつてる  
 体の調子が悪くつて、くつちやねくつちやねしてる  
 あちこち、くつちらかすので、始末が悪い  
 知った振りしてるが、ほんとは、くつちらねえんだ  
 下水を掃除したら、今度は、ぐつくつと、流れる  
 此処と此処を、くつつけると、出来上りだ  
 人が話しているのに、脇から口を、くつばあさむ  
 鼠の野郎、虎挟みを、くつばあさむして、ぬげた  
 あの家は、娘が稼ぐんで、ここん所、くめい  
 約束の時間だから、おつつけ、くるべえ  
 持ちずれえから、風呂敷で、くるむべえ  
 俺にも、うんと、くれええ  
 今日天気、悪いので、家ん中が、くれええな  
 俺らんちにも遊びに来なよ、お茶、ぐれええ、出すよ  
 お前えに、くれっから、貰って置け  
 おんげえにも少うし、くれっせえ  
 彼女、又、家に別の男を、くわえこむんで、来た  
 昼飯、食べたかあ、まああだ、くわねえ



くわねええ  
くわねええよ  
くんどよ  
くんなんねえ  
くんねえ  
くんねえか  
くんねええよ  
くいろ

苦勞はない  
食べません  
下さい  
苦勞とならない  
誰にも呉れない  
俺にも呉れないか  
遅い人には呉れない  
呉て下さい

子供は人にしたし、年金は賣うし、くわねええ  
俺はそんなものは、くわねええよ  
俺いにも、焼き芋、くんどよ  
年寄りが居ても、病院は唯だし、くんなんねえ  
俺が好きだから、誰にも、くんねえ  
お前えらちの妹、俺に、くんねえか  
先着順で、無くなったら、後は、くんねえよ  
焼き芋、美味そうだな、俺いにも、くいろよ

け

けいどう  
けええしやいよ  
けええしやつてよ  
けええす  
けええせ  
けええだす  
けええぶんわりい  
けええもねえ  
けええる  
けえどり  
けえつけ  
けたつばずれ  
けたはく  
けちななよ  
けつしやい  
けつしやい  
けつちんくれる  
けろはかす  
けんかづら

道から家までの入り口道  
返しなさい  
返して下さい  
返す  
返してくれ  
掻いだす  
外間が悪い  
取り柄もない  
帰る  
水をかい出し魚を捕る漁  
飼い付け、夏の漁法  
桁はずれ  
下駄の高さを胡麻化する  
少しの所をへずるなよ  
消しなさい  
返しなさい  
一気に跳ね返す  
入れた物を戻させる  
喧嘩しそうな顔

あの家は、けいどうの、長い家だ  
何時迄借りてねえで、早く、けええしやいよ  
此の写真私の好みで無えので、けええしやつてよ  
あした、こないだ借りた物、けええす、かんな  
貸したノート、俺が使うから、早く、けええせ  
風呂の水を、けええだして、置け、ひつつぐかんな  
会社首になったと言つてはけええぶんわりい  
一生懸命やつたが、落選じゃあ、けええもねえや  
俺らあ、遅くなるから、先に、けええる  
皆なして、けえどり、してる、魚つんと居ればいいな  
藻の一部を刈、餌付をし、魚の集る所を投網で捕る  
絵のうまいのは県の学校で一番で、けたつばずれだ  
あ奴っ目が離せねえ、又、けたはきやあがった  
上客だから、けちななよ、尻い見られるかんな  
使わねえ電気は、勿体ねえから、けつしやい  
ぐずぐずしてねえで、早く、けつしやい、  
えばりくさってるから、何時か、けつちんくれてやる  
胡麻化して儲けた分、けろはかせる  
そんなに、けんかづらで、怒らなくてもいいのに

1  
けんけんといび  
けんつくくれる  
けんど

片足で飛ぶ  
肘鉄砲をくれる  
けれど

けんけんといび、片足でピョンピョン飛ぶ遊び  
言寄って来てうるせえから、けんつくくれた  
結論が出た、けんど、未だ、納得が行かねえ

1  
ッし

1  
ごおたくならべる  
ごおたくつくな  
こいでえ

理屈を混ね並べ立てる  
庇理屈を混ね回して言う  
これで

飲むと、ごおたくならべるから、やんなっちゃう  
何時までも、ごおたくつくな、うるせえぞ

こいてる

ゴタゴタと言う

色々有ったが、こいでえ、うまく行くよ

こいよう

来なさい

済んだのに、何、こいてる、んだ、文句が有るんか  
ここんちの子供は、良く、こいてる

こよう

来なさい

此方ちへ、こいよう、花火が良く見えるよ

こうこ

漬物

一人で居ねえで此方へ、こようよう、一緒に遊んべえ  
御飯のおかずはおつけと、こうこだよ

こがし

大麦粉に砂糖入れた煎粉  
汚れてきたない

こがしを、なめると、むせつけえから、ゆっくりやれ  
上がれよ、こきったねえ、なりだから、遠慮するよ

こける

稲から籾をこき落す作業

のろしが乾いたから明日はこけるべえ

ここいら

此の辺

ここいらに、置いといたのに、無えんだよう

こしげ

越ヶ谷町

こしげと、こすげとの中間音で云う

こせええる

作る

近村の人は、こしげのさいじんさまと、云う

こたつこい

濃い

今日は、犬小屋、こせええるから 道具持つてこい  
屋飯が済んだから、こそこそ、やつつけるか

こつつあむい

此つちの方・自分の事

此の牛乳は、こたつこいから、美味えなああ  
何ごたごた言ってる、こちとら、きくんじゃねえぞ

こつつと

少し寒い

今日は、空が曇よりで、こつつあむい、曰だ  
七輪に火が、こつつと、起きてる

こつつと

炭火が起きる様  
音を立て勢い良く流れる

昨日、大雨降ったから、こつつと、流れてる

こないだ

ついで

死んだかああ、こないだ、会ったべえなのに  
こっちは、涼しくって良い気持だよ、こねけえ

こねけえ

来ないか  
一緒に来ませんか

活動見に行く所だ、こねかああ、ついてくよ

1

このてい  
こぼ  
こまつけえ  
こまつちやべえ  
こやし  
ごろつちやら〜  
ごろまく  
こんげええ  
こんじやああ  
こんで

此の人達  
角ど  
細かい  
困ってしまうでしょう  
肥料  
怠けてゴロゴロしている  
脅かし文句を言う  
これっきり  
これでは  
これで

こないだ言つてた人は、このてい、だな  
かまちの、こぼは、見付けだから、念入りに仕上げろ  
其んな、こまつけえ、話し、すんな、みつともねえ  
今更言われたつて、俺れだつて、こまつちやべえ  
隣のとうちやん、畑で、こやし、呉いてるよ  
ごろつちやら〜して、何処か身体でも悪いのか  
何を、ごろまいてる、こちとらきくんじやねえぞ  
幾らある、こんげええか、こんじやあ家は買えねえな  
こんじやああ、あんまりだんべえ  
書き変えたが、こんで、良いのかな

1

サ  
さあなあ  
さあのごとく  
さいじんさま  
さきつほ  
さきつちよ  
さくやはなし  
さし  
さしおろす  
さたあする  
さつきから  
さつま  
さつば  
さつぱりきねえ  
さつぱりこねえ  
さつほる  
さつほりだす  
さつほつちやつた

それはそうだけど  
予想した通り  
久伊豆神社  
棒の先  
細くなつた先の方  
さつくばらんの話  
母屋からの庇  
母屋から庇を出す  
知らせをする  
先刻から  
さつま芋  
半端な物  
待てども到着しない  
なかなか来ない  
放り投げる  
放り出す  
放り出して捨てる

さあなあ、どうしたものかなあ、事が事だから  
一応帰つたが、さあのごとく又、来た  
久伊豆神社の事を土地の人は、さいじんさまと、云う  
たけつほの、さきつほが、のめたつて、危ぶねえ  
さきつちよに、何か付いてる  
旦那、さくやはなし、作は、おめえのほか良くねえ  
雨が降ってくるから、さし、下へ、おつこめ  
物置を建てるより、さしおろした、方が、安上りだ  
死んだので、親戚に、さたあする  
その話は、さつきから、してんじやねえか、良く聞け  
今年の、サツマは、ほくほくして美味えな  
数が調べば、後の、さつばは、いらねえよ  
何度も知らせたのに、さつぱりきねえ  
時間なのに、さつぱりこねえな、皆な揃つてるのに  
ボールを此方へ、さつほつて、くいせえ頼むよ  
こんな汚ねえ物、置いとくんだ、さつほりだすぞ  
いらねえと思つて、さつほつちやつた、もうねえよ

やさであみ

さなぶり

さばける

さぶい

さぶつつらし

さまあ

さまあねえ

さまあみる

さらっぺえ

さんぜえかける

網の四隅に竹を張った漁具

田植が終った祝い

庶民的

寒い

寒いのに

出来方・その姿

見られた姿でない

不様な姿を見なさい

無計画に金を使う人

散財をさせる

網を川底に起き、魚が来た所を上げて捕る、又手網

今年の、さなぶりは、娘っこが多いんで賑やかだ

今度の、嫁さんは、さばけた、人だねえ

今朝は、さぶいなあ

夜夜中、さぶつつらしに、何処ほっ付き歩いてた

あのさまあなんだ、立派な口はきけねえな

さまあねえ、ぶざまな負方した、皆に合わす顔がねえ

不合格だつてな、さまあみる、あんまり自慢すつから

あの人、さらっぺえ、だから、何でも買いちいらかす

一杯え見舞い貰つちやつた、さんぜえかけたな

1 1

し

じきに

しこたま

しくさる

しくたくしくたく

したごえ

したら

しっかり

しっかりしてる

しっきる

しっくりげえる

しったくる

しっただてる

しっただてらいる

しっちげえる

しっちやいねえ

間も無く

思い切り沢山

しくさをする

病身で寝たり起きたり

苗を仕つける前の肥料

仕終つたら

充二分に

世間並み以上健全

手で引きちぎる

ひっくり返る

無理に奪う

戸を閉める

無理に連れてゆかれる

筋を伸ばす怪我

如何なつても関知しない

電車行つちやつた、じきに来るよ、次でも間に合うよ

相場で、しこたま、儲けた

又、悪さを、しくさる、んだから

彼方此方痛いと言つて、しくたくしくたく、してる

したごえ、しねえと、作物は良く取れねえ

出来たか、したら、飯にすんべえ

しっかり、儲けちやつたから、もう心配えねえな

下のやろっこは、しっかりしてつから、心配ねえよ

木瓜と茄子を畑から、しっきつて、来い

雪の上で滑つて、しっくりげえる

荷物を、しったくる、様にして、持つてつたね

寒いから、後ろの戸を、早く、しっただてる

あ奴つ、悪い事して、警察に、しっただてらいた

よろけて、踏み外して、足しを、しっちげえつた

お前えが、何しようよと、俺らあ、しっちやいねえ

しつちよる

しつづく

しつつける

しつつける

しつつける

しつつける

しつべいした

しつべえげえし

しとつぼい

しぶつてえ

しもごえ

しゃああねえな

しゃくる

しゃごむ

しやしやりでる

しやつきりしねえ

しやつけえ

しやつこい

しやつちやつた

しやつちよこばる

しやつぼ

しやりき

しやる

しやれつけえる

しやれねえ

しやうあるもんか

しやうねえな

しやうがねえ

しやうねえやつ

背負う

風呂桶に水を入れる

風呂に湯を沸かす

苗を植付ける

足の筋が引きつる

吊るす

ぶらさげて

失敗した

仕返し

湿り気がある

出し渋る

人の糞尿・東京から来る

仕方がないな

柄杓で汲む

膝を折り腰を下げる

掻き分けて前に出る

シャンとしな

冷たいな

冷えている

反り返ってしまつた

緊張して硬直する

帽子を脱ぐ

材木を鋸で挽く人

後へさがる

思い切りお洒落をする

後へ下がれない

如何しようも仕方がない

仕方がないな

如何しようもない

如何しようもない人

暮には、餅しつちよつて、いくかん

風呂を、しつづくから、手伝え

風呂、しつつけたから、じきに入られるよ

キャベツの苗を、しつつける、時期で、忙しい

水の中で足が、しつづつて、危なく溺れる所だつた

大根を軒下に、しつづつて、干したくあんにする

荷物を、しつづつて歩く、みずれえからやああだ

俄か雨だ、しつべえした、干し物出しつ放なした

恨まれて、しつべえげえし、されてもつまんねえ

雨が近くなつて来たな、何となく、しとつぼい

会費なかなか払わねえ、あの人、しぶつてえ、かん

秋の野菜をしつづけるから、しもごえを、しておけ

失敗して、おしゃかになつた、しゃああねえな

柄杓持つて、しゃくつて、来い

しゃごんで、草取をする

あそこの嫁さんすぐ、しやしやりでて来る

あそこの子供は今一つ、しやつきりしねえ

しやつけえな、気を付けて、水を撒け

此の井戸の水は、しやつこいな、良い気持だ

真名板が、しやつちやつたので、使あねえかん

先生が校長の前で、しやつちよこばつてる

こう負けが込んじやあ、しやつぼ、だよ

大きな鋸だね、しやりきの、鋸で、板を挽く時に使う

田植は、しやつちやつつ、しやり、ながら、植える

ばかに、しやれつけえつて、如何した、お見合いか

これ以上、後ろに、しやれねえ

泣いたつて、しやうあるもんか、仕方ねえ諦める

バスに遅れたから、しやうねえな、電話して置くか

不合格じやあ、しやうがねえ、又来年頑張れや

奴は、何時になつても、しやうねえやつた

しようろくだま  
しよがねえ  
しよごる  
しよつべえ  
しよつべえ  
しよつべえ  
しらつちやける  
しらばつくれる  
しるもんか  
しれてる  
しんねえ

仕様もないろくでなし  
仕方がない  
噴き出す  
なしぶれた  
酔っぱい  
しまりや  
色が剥けて白っぽくなる  
色が白けた料理  
感知しない  
結果が解っている  
知らない

あそこの、しようろくだま、来たぞ、逃げる  
自転車が、ねえや、しよがねえから、歩いて行くべえ  
桶がひからびてる、隙間から、水が、しよごってる  
あの人町中を、しよつべえ、格好して、歩いていた  
ちっちゃい蜜柑だから、しよつべえ、かもしんねえ  
奴は、しよつべえから、金の掛かる付き合いはしねえ  
この着物、しらつちやけるな、棚晒しだべえ  
此の煮物、しらばつくれるから、まずまずしい  
其んな事、しるもんか、俺には関係ねえ  
大口叩いたって、しれてるよ  
俺らあ何んにも、しんねえ

す

すかしつべえ  
すかしやあがる  
すげええ  
すげえな  
すけつと  
すける  
すつから  
すつけええ  
ずつけつこ  
すつこく  
すつこむ  
すつこめ  
すつこく  
すつとり

気取屋さん  
気取って良い格好する  
驚く程  
凄く驚く  
加勢の人  
接ぎ足す  
するから  
酸敗している  
やり取り無し  
損をした  
気遅れして首が引っ込む  
引っ込め  
大変に  
卵を抱きに巢に入る

あの子、すかしつべえ、だなあ、てえした事ねえのに  
人前えに出ると、すかしやあがる、いけすかねえ  
今度の新車は、すげええ、車だ、すつとばして見てえ  
お前え、偉くなったんだってな、すげえな  
田植は、すけつと、何人妻かね、今から頼んで置く  
鼻緒切れるのか、すけて、やるから持って来な  
腹減ったな今飯に、すつから、少し待ってる  
此の飯少し、すつけええよ、じやあ止めとけ  
一勝一敗で、これで、ずつけつこだ  
儲けべえと思つたが、すつこい、ちやつた  
皆、良い格好してんで、首が、すつこむ、じやつたよ  
出しゃ張るな、すつこめ、出る幕じやあねえ  
ゆんべのテレビドラマは、すつこく、良かつたよ  
雌鳥が、すつとりに、なつたので、卵を生まねえ

1  
すつとぶ  
すつべえ  
すつべった  
すつべりめし  
すつぼらかす  
すどっけえ  
すます  
すれえ  
すれこむ  
すんなり  
すんなり

風天で一ヶ所に居ない  
酔っぱい  
磨り減った  
おかずなし御飯  
放置する  
やり取り無しで交換  
知らぬ顔をする  
しにくい  
押せ押せとなる  
するな  
素直に

俺なんか何処に、すつとんだって、かまねえ  
料理、すつべえな、酔入れずかな  
随分、すつべった、下駄を履いてるね  
あの子の弁当は、何時も、すつべりめしだ  
帰って来たたら、カバンを、すつぼらかすな  
遣り取りなしで、すどっけえ、出来れば上上だ  
何食わぬ振りして、すます、所が、気に食わねえ  
しずれえ・きすれえ・見ずれえ・行きずれえ等  
計算違いで、すれこむ、じゃつて、たんなくなつた  
いやがる事は、すんな、嫌われるぞ  
人の言う事は、すんなり、聞くもんだ

せ

せいふろ  
せええごろう  
せえがでる  
せえげんもねえ  
せえそく  
せつこむ  
せつちようする  
せね  
せびらいる  
せめえ  
せわあする  
せわねえ  
せわあねえや  
せわんなつた

据え置き風の風呂桶  
竹で作った漁具  
良く働く  
切りがない  
催促  
それそれと急がせる  
無理に世話焼き過ぎる  
小銭  
ねだられる  
狭い  
仲人をする  
手が掛からない  
ばかみた  
世話を掛けた

せえふろに、水を、しつつけて、置け  
餌に連られ魚が入る縦長漁具、せええごろう  
あそこの家は、せえがでるねえ、てええしたもんだ  
小遣やつても、せえげんもねえ、皆な無駄使いだ  
金の、せえそく、に来たよ、早くけえつしやいよ  
未だこんな時間に時間が有るのに、せつこむん、だから  
嫌がってるのに、せつちようするな、ほつぽつとけ  
かあや、おいに、せね、くいせえ、何にすんだ  
おもちゃを孫に、せびらいるので、財布が空だ  
せめえ、家だけと、来ねえかあ、遊んでけよ  
あの娘は、良い娘だ、何処かに、せわあするべえ  
何も可も揃ってて、せわねえ  
さんざあ心配してやったのに、せわあねえや、  
仲人に、せわんなつた、良い嫁さん来て良かったな

せわんなんねえ  
せんみつ

面倒見て貰わない  
当てにならない

お前には死んでも、せわんなんねえ  
あんにやろうの話は、せんみつだから、氣よつける

そ

1  
せいじゃあ  
そうかあ  
そうさあ  
ぞうさかけたね  
ぞうさもねえ  
そうさなあ  
そうだけんど  
そうだっけなあ  
さうだなああ  
そうれみたこった  
そうれみる  
そこいら  
そしたら  
そつかあ  
ぞつき  
そつたらこと  
そらああ  
そらああねえ  
そらあねえよ  
そらでしってる  
そらでゆる  
そりやああ  
それっちんべえ

それでは  
そうですか  
そうですね  
手数を掛けた  
たやすい事  
どうしよう  
それはそうだけれど  
そうでしたねえ  
どうしようか  
予想した通り其の通りだ  
予想した通りだ  
其の辺  
そうしたら  
そうなのか  
一つ品で揃える  
その様うな事  
それは  
氣持ちが落着かない  
そんな事ってない  
何も見無くても言える  
何も見無いで言える  
それは  
そんなに少し

色々ぞうさかけたな、せいじゃあ、こんど逢う時に  
もう帰えるのか、そつかあ、家の人に宜しくね  
そうさあ、その通りで、あつたりめえだ  
ぞうさかけたね、いづれ又、礼にくつから  
そのくれえの事なら、ぞうさもねえよ  
そうさなあ、簡單の様でむずかしいな  
其の話は、そうだけんど、他にも種々あるかなあ  
昔は良く遊んだなあ、そうだっけなあ  
そうだなああ、どうしようか、皆んな集めて話すか  
止めろと言ってるのに、そうれみたこった  
きつと失敗するぞ、そうれみる、さあのごとくだ  
とうちゃん居るかね、そこいらに、居ねえかな  
そしたら、どうすんべえ  
そつかあ、可哀想に死んだかあ  
すげえ建物だ、何処も彼何処も、栓、ぞつきだ  
そつたらこと、言つたつて、世間様を通らねえ  
あの子、首だなんて、そらああ、おかしいよ  
会社潰れそうだ、仕事してる、そらああねえよ  
あんな良い娘首にするなんて、そらあねえよ  
九九も、いろはも、そらでしってる、お利口だね  
頭がええなあ、九九が、ゆらでゆる、んだから  
そりやああ、大変だ、如何しよう  
それっちんべえ、じゃ、話にも何にもなんねえ



それみせ

それみたこった

それんべえ

そろっと

そんじやあぁ

そんじやつた

そんじやねえよ

そんじよそこらぁ

ぞんぜえ

そんだけんど

そんだなぁ

そんだなぁ

そんでも

そんでもってかんど

そんてよ

そんてよう

そんてあぁ

そんてなつて

そんべえした

それ見なさい

それ御覧なさい

そんてに小し

そつと内緒で

それでわ

損をした

そうではない

普通に其の辺ん

粗雑な

話はそうだが

如何しようか

それはそうだな

それでも

それはそうだけど

それから

そしたらよう

その様なばかな事

その様な事って

損ばかりした

それみせ、俺の言った通りだべえ

駄目だと言ったのに、それみたこった、離婚だとも

それんべえ、貰っても、しょうがねえ

そろっと、俺にだけ話せ、誰にも言わねえから

そんじやあぁ、明日きつとね

わざわざ行つて、そんじやつた

噂が色々だが、そんじやねえよ、俺れとは関係ねえよ

そんじよそこらぁの、話しと違う有難てえ話だ

越ヶ谷言葉は、ぞんぜえ、だから、恥ずかしい

其れは、そんだけんど、後がてえへんだ

お前も行くか、そんだなぁ、ついてつてもらうかな

そんだなぁ、何んか良い考えはねえかな

そんでも、まだまだ、大変な事が一杯有るんだ

話は此うだ、そんでもってかんど、如何するか問題だ

そんてよ、もつと、良い話、有るんだよ

そんてよう、皆が仲良く、なるべえと思つているんだ

そんてあぁ、そんじやあ、話が違うじやあねえか

仲良く、やつてんのに、そんてなつて、ねえよ

そんべえしたのは、俺のやり方が悪いせえだ

た

だいだよ

たかあしれてる

たかづつぽ

たぐるうまく

たけえな

たけえや

大丈夫です

程度が解つてい

竹筒で作つた漁具

ぐるぐると巻く格好

思つたより高い

高過ぎる

おい、危ぶねえぞ、だいだよ、ねんじゆやつてつから

自慢しても、たかあしれてる、お里が知れてるよ

竹の節を抜き片方に網を張り、鯰を捕る漁具、冬多し

あ奴は、何時も、あの店で、たぐるうまいてる

此処は、たけえな、見晴らしが良くつて、良い場所だ

向うの店より、たけえや、安くなんねえのか

たたげづつぽ

たしかに

1 だつて

たつぽ

たてつけえし

たてめえ

たてめえ

たなのんち

たのころまめ

1 たぶんなあ

たまつころ

たまつたもんじやねえ・我慢が出来ない

たまんねえ

たまんねえ

ためんなんねえ

たやねえ

たんなか

たんなくなる

たんまげた

たんねえ

たんねえ

ち

ちっこ

ちっこい

ちつたらちつたら

ちつとんべえ

竹の棒

確實とは言えないが

そうではあるが

文の高さ

沸かし返えし

建て舞い

表向き

お店屋の家

枝豆大豆

不確定だが

小さい丸い玉

やりに切れない

貯らない

良い方にはならない

造作もない

田のなか・耕地中

不足となる

びっくり驚いた

足りない

念を入れる

土地の者

小っさい

ケチケチと少しづつ

僅かばかり

烏が悪さすつからたかづつぽで追い払う

昔の事で忘れたが、たしかに其んな事が有った

だつて、色々有つから、相は行かねえ

あの家は、たつぽのたけえ家だ

今日の風呂は、忙しかつたから、たてつけえしだ

家を建てる時の棟上式、たてめえだから投げ餅すんべえ

お前えの言う通りたてめえはそうだが

父ちゃんは何処だ、タバコけええにたなのんちだんべえ

畔道の端に植えるので、たのころまめと、云う

本當かい、たぶんなあ、ほんとうだと思うよ

たまつころ、ころがして遊んべえ

寒中に水ぶつ掛けられちゃあ、たまつたもんじやねえ

金は掛るし、骨は折れるし、こんじゃ、たまんねえや

幾ら、働いても、銭なんか、たまんねえ

金、貸すと、ためんなんねえ、ろくなもんに使わねえ

此んなもの、たやねえよ、すぐなおしてやるよ

とおちゃん何処いった、たんなかで、草取りしてるよ

気前良く肥料撒き過ぎると、たんなくなるぞ

暗い所から、急に飛び出すから、たんまげたよ

これつきりじゃあ、たんねえや

あの人の仕事は、たんねえ、だから、良い出来栄えだ

俺らあ、ちっこ、だから、この辺んじや顔がきく

お俺んちに、ちっこい、犬がいるよ

ちつたらちつたら、してて、みみちちくてやだ

こんなちつとんべえじゃあ、話にも何んにもなんねえ

1  
ちっちゃい  
ちっちゃい  
ちっぼっけ

1  
ちべた  
ちやち

ちやぶでえ  
ちやぶるめえ  
ちやら

ちやりいれる  
ちようつけえ

ちようつば  
ちよこべえ

ちよこつと  
ちよつくら

ちよつくらじゃねえ  
ちよつけえだす

ちよつとこい  
ちよろい

ちんたらちんたら  
ちんちくせえ

小さい  
小っちゃな

極く小さい  
住んでる下の土地

華奢  
食卓

嫁を近所に引合せる  
たやすい

横から口を挟む  
戸の取り付け金具

便所  
傘が逆さに開く

ほんの少し  
少しの間

すぐに間に合わねえ  
横から余計な事をする

ちよいと来なさい  
簡単だ

少しづつ少しづつ  
小じんまりしている

この子は、ちっちゃい、時から、可愛かった  
ちっちゃつけえ、蜜柑で、すっけえかもしんねえ

話しの割りに、ちっぼっけな、家に住んでるね  
でっけえ事言ったって、ちべたは、自分のでねえ

この道具は、ちやち、だから、すぐ駄目になる  
昼飯だから、ちやぶでえを、出せ

嫁が来たので、近所に、ちやぶるめえ、をした  
試験どうだった、あんなの、ちやら、だよ

話の途中で、ちやりいれるな、調子が狂う  
腰の、ちようつけえが、悪りくって、ふったてねえ

客だから、ちようつばの、手洗に、水を張って置け  
風が強いので、傘が、ちよこべえに、なった

味噌、買いたれた、ちよこつと、貸してくいせえ  
待っててくんど、ちよつくら、行てくから

話しが、ちよつくらじゃねえから、お茶でも飲んでろ  
目を離すとすぐ、女に、ちよつけえだす、んだから

話が有るから、ちよつとこい、今忙しいのに  
厄介だが出来るかなあ、其んな事、ちよろいよ

ちんたらちんたらで、ちあかねえ  
ちんちくせえ、くせして、小生意気だ

つ

1  
ついでく

ついでく  
ついでかいる

ついでつてくいせえ  
つかまんねえ

後に付いて行く

連れて行く  
連れて行かれる

案内して下さい  
捕らえられない

何処までも、ついでくよ

天王様のお神輿見に、ついでくから、やべえ  
嘘つくと、お巡りさんに、ついでかいるぞ

東京は、行きつけねえから、ついでつてくいせえ  
ぬげあし早くって、つかまんねえよ



つんめく  
つんだしたべえ  
つんのめる

突き抜いて  
突き出したでしょう  
前のめりに転ぶ

山の中腹を、つんめいて、トンネル掘った  
窓から顔を、つんだしたべえ、道からめえたよ  
ばあさん、つんのめる、様にして、歩いて行く

て

ていら  
でえいち  
でええく  
でええくおくり  
てええげえ  
てええしたも  
てええしやば  
てええへんだ  
てええだすな  
でええぶ  
てえげえ  
てえげえ  
てえこもち  
てえこん  
てえじん  
てえそうな  
てえだし  
てえでえいろ  
てえどころ  
てえなし  
てこめえ

平ら  
まづ先に  
大工  
建前の後大工を送る式  
たいがい  
大したもの  
駅  
大変  
手助けするな  
大分  
普通は  
大概の事  
太鼓  
御機嫌取り  
大根  
大尽・大金持ち  
大変大袈裟な  
おせい介  
淡黄色  
台所  
台無し  
手使いの人

祝儀は近所、ていら、にした方がええ  
でえいち、その話は、無理だんべえ  
俺らあの、商売は、でええくだ  
建前もお開きで、此から、でええくおくりだ  
此処いらでは、てええげえ、建前えには投餅をする  
此れだけ、上手に、出来れば、てええしたもんだ  
学校けつたら、ていしやばへ、行って遊んべえ  
学校が燃えてる、そりやあ、てええへんだ  
学校行く支度は、てええだすな、自分でやらせろ  
でええぶ、良く出来たね、たんねん、だかな  
子供が出来ると、この辺じやあ、てえげえ、宮参りする  
てえげえ、のことなら、我慢するよ  
村祭りだな、てえこが、鳴っていらあ  
あ奴は社長の、てえこもち、だから、やらしとけ  
今年もたくあんにする、でえこん、うんと干したな  
あ奴、でえじん子のくせに、みみっちいんだから  
あの嫁さん、てえそうな、支度で、嫁入りしたな  
お前えはすぐに、てえだしすつから、後で恨まれるんだ  
柑橘類の、だいだいの実の色、でえでえいろ  
でえどころで、手を洗って来い  
壊したら、でえなしだ、そろっと扱え  
屋根替えだから、てこめえが、大勢え必要だ

てしょう

でだす

てつきり

でっけえ

でっけえづうたい

でっけえつらして

でっけえなりして

でっばなし

でっばなし

てっびら

てっべん

てねげえ

でもう

てめえらあ

てめえらあち

でんぐりけえり

でんぐりけえり

でんぐりばし

てんつけ

てんてこめえ

てんこもり

てんでんこ

醤油小皿

出掛け様と思う

当然疑いなく

大きい

大きな身体

横柄な顔して

年が多く体が大きい

手放し

毎日家を空ける

手の平

頂上

手拭

それはそうだけれど

お前え達

お前え達の家

頭を下にして回転する事

頭からひっくりかえった

頭から回転して遊ぶ遊び

最初から

大忙しい事

山盛り

各自思い思いに

刺身だから、てしょうと、醤油、一緒に頼む

今、畑仕事に、でだすべえと、思ってた所だ

てつきり、お前えだと思つた

こいつは、でっけえな、おつたまげた

でっけえづうたい、して、ごろっちやらしてる

でっけえつらして、何様だと、思ってるんだ

でっけえなりして、子供とばり遊んでる

でっばなしで、自転車に乗る

でっばなしで、家に居た事ねえ

忘れねえ様に、てっびらに、書いて行け

頭の、てっべんが、はげてきた、早く嫁取らねばなあ

風呂に行くのか、てねげえと、しやほん其処にあるよ

其れはそうだけれど、でもう、違う場合も有る

てめえらあ、今迄何処へ行つてた

てめえらあちの、方じゃあ祭りは、如何やるんだ

俺れ、でんぐりけえり、出来るよ、みてみせ

体操の時間に失敗して、でんぐりけえつた

でんぐりばしして、遊んべえ

集まったら、監督に、てんつけ、怒らいた

お客が一杯えで、てんてこめえした

こんなに、てんこもり、じゃあ、食い切れねえ

帰りは、てんでんこに、すべえ

と

1

とうかんやのわらてっば・もぐら追いの行事  
竹で作る、どじょう取漁具  
どうけ  
どうでもねえ  
何処も何んともない

とうかんやのわらてっば、蕨束で土を叩く行事  
どうけ・げんごろう・瓶どう・大型どうけ等  
如何か壊れたのか、何処も、どうでもねえよ

1 どうれで

とがめる

とがめらいた

とけええゆく

とじる

どこかんち

どここのんち

どこんちも

とつかかる

とつかに

とつに

とつけえし

とつけっこ

とつける

とつけらいた

とつかかる

とつかかちやった

とつこい

とつこいどつこい

とつこむ

とつちめちやべえ

とつても

とつとけ

とつとけよ

とつとと

とつとつと

とつつかめええる

とつびようしもねえ

ドドメ

とどめいろ

道理で

傷が化膿する

悪い事を追求される

何処へ行く

縫い合わせる

この中の何処かの内

何処の家だ

何処の家も

取り掛る

何処かに

以前から

取り返す

交換する

取り変える

取り変えられた

始める

既に取り掛かる

そうはゆかぬ

どちらとも付かぬ

取り込む

捕らえて絞め上げてやる

とても

捨てずに仕舞って置け

貰って置きなさい

すぐに急いで

弾む様に

捕まえる

考えも付かない

桑の実の色・赤紫色

薄赤な紫色

話が済んでたのか、どうれで、うまく行ったと思った

怪我の傷が、とがめて、痛えや

無灯火なので、お巡りさんに、とがめられた

此んな夜更けに、とけええゆく、夜更えだんべえ

夜なべに、木綿の、古布を、とじて、置け、雑布る

この荷物は、どこかんちのだが、わかんねえ

お前えんちは、此の一角の内、どここのんちだ

どこんちも、自動車はあるし、家も立派だ

大工が新築の家に、とつかかった、とんとん出来る

無くなっても、とつかに、あんべえ、良く探せ

そんな事、とつに、知ってらあ

遊んだ分、早く、とつけえし、しなくっちゃ

お前え良い服着てるな俺んと、とつけっこ、すんべえ

今買って来たが、少し小せえから、とつけて、来い

新品の傘、とつけらいた、今流行で高かったのに

午後の仕事に、とつかかるかな、冬の日は、早いかんな

もうとつかかちやつたかい、少し変更したいんだがな

終りだと思つたら、とつこい、まああだ有るよ

この勝負、とつこいどつこいだな

雨が降って来るから早く、とつこめ

カラス割つたの、はあの子だ、とつちめちやべえ

とつても、そんな簡単なわけにや、いかねえぞ

でえじだから捨てずに、とつとけ、今に役に立つ

少しだけと、とつとけよ、気持だよ

今日は、忙しいから、とつとと、行け

嬉しくって、とつとつと、駈て行った

万引を、とつつかめええる、ガードマンをやつてる

この子は、とつびようしもねえ、事、考えるもんだ

桑の実、薄甘すっぱい赤紫色の実、舌が紫色になる

プールの水が冷てえので、唇が、とどめいろになった

とにたつ  
とば

とめねえ  
とりつけえす  
とれる

とれねえ  
とねええ

1 1  
とんがる  
とんがりやがる

とんだこった  
とんどんやき  
とんびしやり  
どんより

花茎が伸びる

小刀

入り口近く

自由にやんなさい

取られた物を取り返す

捕れる

収穫が少ないでしょう

取れない

先が尖る

口を尖らせて怒る

とんでもない事

お好み焼き

丁度びつたり  
にごっていてよどむ

な

なああ

なああしてきた

なああになに

なああしてよ

なかええ

ながたな

なかめっこ

なかめっこわりい

1  
なげもち

なさねえ

ねええ・話しかけの言葉

如何やって来た

如何致しまして

いいえ如何致しまして

如何してだよ

仲が良い

菜切り包丁

仲が良し同志

仲間同志平等でない  
建前の時に投げる餅

返さない

何時まで嫁に行かねえと、とにたつ、ちやうぞ

あ奴は何時も、とばを、持って居るので危ねえぞ

其処は、とばくちだべえ、もつと、中へ入れよ

行きたきやもう、とめねえよ、好きな様にしな

うんと損しやつたな、とりつけえすの、てえへんだ

魚、うようよ居るから、一杯え、とれるべえ

今年は、雨が降らねえから、作物が、とれねえべえ

棚が高いので、椅子がねえと、とれねええ

鉛筆の先が良く、とんがって、すぐ、とんがりやがる

ちよつと言はれただけで、すぐ、とんがりやがる

勝手なまねすんな、とんだこった、絶対駄目だよ

うどん粉に葱・おほろ・切りいか等を入れ鉄板で焼く

計算通りに、とんびしやりだ

あの人何時も、どんより、してる、何処か悪いんかな

なああ、お前え・なああ、かあちゃん等

此んな所迄、なああしてきた、自転車か

御苦労掛けたな、なああに、大えした事ねえよ

悪い事しちまったな、なああになに、かまねえよ

別れるんだってな、なああしてよ

なかええ、夫婦を見てると、気持がええ

台所から、ながたな、持って来い

お前え達、なかめっこ、いいな

皆んなに、同んなじに、しねえと、なかめっこわりい

表んちで、建前えだ、なげもち、始まぞ、早く行け

あの人に、借りた金、なしたか、まだ、なさねえ



ななさねえんだよ

なしてきた

なしてきた

なしてよう

なしてくれよ

なしにすんべえ

なすかんなあ

なせつたら

なせよ

なせよ

なそうか

なっちょねえ

なつてる

なにこいてる

なにすつかな

なにすんだ

なにすんだあ

なびる

なり

なりにかまける

なれええ

なれええ

なんかくいせえ

なんかすつかな

なんした

なんにすつかな

なんたつて

なんつたつて

なんでえ

返してくれないんだ

返して来た

如何して来た

何故

返して下さいよ

無かった事にしよう

借りた物を返すから

返せと言ってるのに

返せよ

元の様にして返せ

返そうか

お手玉・女子の遊び道具

形に成ってない

実が付いてるでしょう

何ごたごた言ってる

何をしようかな

如何するのだ

何の用に使うのか

なせ付ける

身成り

服装に気を取られる

恋愛結婚

裏で話を付ける

何か下さい

別の事をしようかな

如何うした

何にしようか

何んと言おうと

何んと言つても

なんだ

貸した本、せえそくしても、なさねえんだよ

棚のうちに、金借りて居たの、今なして来たよ

一人で、なして来た、何か用があんのか

とおちゃん入院したんだつて、なしてよう

まだ見てねえ本、持っただけ、早く、なしてくれよ

此の喧嘩、なしにすんべえ

なすかん、此処え置いてくよ

其れ弟のたべえ、なせつたら、解んねえ子だ

其れ、俺のだから、なせよ

ぶっ壊したな、なせよ、明日使うんだから

此の間の借金、今、なそうか、後でいいよ

雨だから、なっこと、おはじきで、遊んべえ

この仕事、なっちょねえな、こんじゃあ、納んねえ

今年の柿は、うんと、なつてるべえ、後で、やつかん

なにいこいてる、話が付いたのに、まああだ文句有るか

今日は暇だから、なにすつかな、ようつりに行くか

持ち出して、なにすんだ、又、売っ飛ばす積もりか

其れ持ち出して、なにすんだ、後ちゃんとして置け

少し痛えけど薬、なびつて、置けば、じきに良くなる

近頃、なりにかまけてるが、さては彼女、出来たかな

あの親も、なれええ、だから、娘も仕方ねえべえ

政治の話は、皆んな、なれええ、だんべえ

かああちゃん、腹、へつた、なんかくいせえ

畑が一区切りで、暇だから、今日は、なにかすつかな

其んな顔して、なんした、何あつたんだ、言ってみろ

晩飯は、なんにすつかな、こそこそ、しつつけるか

なんたつて、お前えんちは、昔つから、大尽だもん

なんつたつて、俺いらの、組が、一番だ

俺の顔、見やあがつたな、なんでえ、ごろまく気か

なんてったって  
なんてったらいいか  
なんでもねえよ  
なんともねえ  
なんどり  
なんねえ  
なんねえ  
なんぼなんでも

何と言つても  
何と申したら良いか  
何に事も無い  
如何うもし無い  
様子を見ながら  
ならない  
いけない  
幾ら何んでも

なんてったって、お前が一番だ  
有難くって、なんてったらいいか、わかんねえ  
如何かしたんか、なんでもねえよ、おどかさなよ  
何処か痛てえのか、なんともねえよ、心配したよ  
泣いてるから、なんどりと、話しをしろ  
信用に、なんねえから帰えれ、話しええに、なんねえ  
言う事、聞いちやあ、なんねえ、後で馬鹿みんどう  
なんぼなんでも、其れは、酷かんべえ

に

にぎやかし  
にくてえ  
にせえりよう  
にやけつぽい  
にやけつぽい  
にやけつぽい

賑やかに見せる  
憎い  
荷送りの責任者  
にやにやしてる  
軟派師みたいだ

大分、賑やかだな、にぎやかしだよ  
娘を、たぶらかした、にくてえ、奴だ  
今日は婚禮の、にせえりようだ、あんまり、呑むな  
背が高く良い男だけんど、にやけつぽくて、嫌らしい  
全くあの人は、にやけつぽらしい、んだから、嫌い

ぬ

1  
ぬかす  
ぬくてえ  
ぬげあし  
ぬげた  
ぬけてる  
ぬげろ  
ぬげちやつた

ごたごたと言う  
暖かい  
逃げる時の走り方  
逃げてしまった  
間抜け  
逃げなさい  
逃げてしまった

何に、ぬかす、お前えの言う事なんか聞いてらんねえ  
味噌汁が、ぬくてえ、美味ええや  
ぬげあしの、早え奴だ  
ぬげたべえ、紐で良く、縛つとかねえからだ  
親は、まちようだが、息子は少し、ぬけてるなあ  
捕めえに来たぞ、早く、ぬげろ  
お巡りさん来るの、遅せえから、ぬげちやつたべえ

はは

はああ  
 はああもう  
 はかいく  
 ばかに  
 ばかににぎやか  
 ばかにでっけえ  
 ばかみてえ  
 ばかみちやつた  
 ばかみる  
 はけねえ  
 はけねえ  
 はしたじやねえ  
 はじっこ  
 はしものけえ  
 はしやいでる  
 はすっけえだ  
 はすっばにきれ  
 はつきりしねえな  
 はったおす  
 ばつわりかんべえ  
 はなつばしべえだ  
 はなつぼろ  
 はばきく  
 はま  
 はめる  
 はめる  
 はやくつから  
 はやける

もうそんなに  
 何と言おうか  
 どんとん進む  
 思つたより  
 大変賑やか  
 論外に大きい  
 馬鹿の様だ  
 馬鹿な目に遭つた  
 馬鹿を見る  
 商品が捌け無い  
 水掃けが悪い  
 少しばかりじやあない  
 端の方  
 一俵の半端物を買う人  
 声を上げて騒ぐ  
 斜めに曲がつてる  
 斜めに曲げて切る  
 お天氣が良くない挨拶  
 張り倒す  
 きまり悪いでしょう  
 初めの勢いだけだ  
 □が卑しくつまみ食う  
 威張つて居られる  
 車の輪  
 穴に入れる  
 女性と性交する  
 ずっと前えから  
 卵が孵化する

はああ、なくなつたか、早ええな  
 はああもう、何んてつたら、良いか、わかんね  
 畑仕事、はかいくね、夕方には終るよ  
 ばかに、でっけえな  
 ばかににぎやかだと、思つたら、お祭りだ  
 あの看板は、ばかにでっけえから、目立つな  
 騒いでるが、ばかみてえ、真相を、知らねえからだ  
 ばかみちやつた、行くんじやあ、無かつた、騙された  
 騙されんな、ばかみるぞ、後で解つても、おせえよ  
 人の出がわりいので、思う様に、はけねえ  
 下水が詰まっているので、水が、はけねえ  
 でっけえの何んので、はしたじやねえ  
 其んな、はじっこにいねえで、もつと中へ入れよ  
 はしものけえの、じいさんが来たら、此れを売れ  
 夕方、子供が、はしやいでるから、明日は雨だな  
 写真、はすっけえだべえ、カメラを曲げて取るからだ  
 其の丸太の、先つぼを、はすっばにきれ  
 今日、はつきりしねえな、雨でも落ちて来つかな  
 ぐすべえ言つてると、はったおすぞ、さつさとやれえ  
 喧嘩したんか、ばつわるかんべえ、俺が言つてやるよ  
 はなつばしべえだよ、奴は、一発やれば後は弱えから  
 ついつい、はなつぼろ、だから、太とちやう  
 此の町では、俺も少しは、はばきくべえ  
 自動車には、はまが、四つある  
 此の穴に金具を、はめると、出来上りだ  
 夜遊びに行つて、はめて、来るべえ  
 何ん時頃に、来たんか、はやくつから、来てるよ  
 金魚が、はやけると、みじんこ取りが、忙しくなる

1  
はらっぺらし  
はらんべえわりい  
はりめど  
はんげえくつから  
はんばじゃねえ  
はんべら  
はんでえ

食べてもすぐ腹の減る人  
腹の調子が悪い  
針の穴  
夕方来るから  
中途半端では無い  
二つに割った片方  
茶ぶ台

食う物ねえか、この子は、はらっぺらし、なんだから  
夕んべつから、はらんべえわりい、くつて困っちゃう  
年い取ると、はりめど、通らねえで困る  
今は忙しいから後でな、はんげえくつから  
田植じゃ疲れが、はんばじゃねえべえ、良く休め  
鯉、食いてえな、はんべら、買って来い  
お茶飲むから、はんでえ、出して置け

ひ

1  
ひいる  
ひからかす  
ひからかす  
ひがらがめえね  
ひからびちやつた  
ひからびてる  
ひきやりめし  
ひたつける  
びたびた  
びつき  
びつけ  
ひっこむ  
ひっこむ  
ひつっこい  
ひつっこい  
ひつっこい  
ひつっこい  
びったんこ

干し上がる  
磨いて光りを出す  
干しあげる  
予定日が解らない  
水気が抜けてしまった  
金欠病  
大麦を挽き割った飯  
叩き付ける  
びしょびしょに濡れる  
一番遅い事  
一番しまい  
引き込む  
工事して引き入れる  
味が濃い  
執念深い  
筋が吊る  
引っ張り盗られる  
平らな事

天氣が良いので、一日で、ひいたべえ  
真鍮を、良く磨いて、ひからかす  
良く、ひからかすんだよ、後でかびるといけねえ  
退院の、ひがらがめえねえ、まだ何処が悪いんかな  
此の野菜、ひからびちやつたから、捨てちやいな  
金、入ええつたな、ひからびてるから、ジユウ、だよ  
俺らちの飯は、ひきやりめしだ、真っ黒で恥かしい  
生意気だから、びたつけてやれ  
良く絞ら無えと、廊下が、びたびたする  
運動会の、かけあしは、俺ああ何時も、びつきだった  
成績は、何番だったね、びつけだよ  
此処ん所、風邪、ひっこむ、んじやつて、いんがみた  
水道、ひっこむ、んじやつて、今度は案だね  
此の料理、油っこくつて、ひつっこい、口に合あねえ  
断わつたのに、ひつっこいんだ、もう付き合あねえ  
寝てたら、足がいきなり、ひつつるつた  
ハンドバックを、ひったくらいた、今流行りだよ  
丸まっこい、からもつと、びったんこに、しろ

びったんこ  
 びっち  
 びっちめる  
 びっちり  
 びっちり  
 びつばらいた  
 ひとに  
 ひとにする  
 ひといじり  
 ひとつところ  
 ひとつぱし  
 ひとつぱしり  
 ひとつぱやり  
 ひとつぱり  
 ひよとり  
 ひよこたくひよこたく  
 ひよつっこ  
 ひよつこり  
 ひんどう  
 ひんぬいちゃべえ  
 ひんぬじる  
 ひんまげる  
 ひんまわす  
 ひんむく  
 ひんやりする

丁度合う  
 一番最後  
 捻って絞め上げる  
 一面に隙間なく  
 びつたり隙間無く  
 引き寄せられた  
 他人から見て自分の事  
 所帯を持たせ一人前にする  
 他人に意地悪をする  
 同一場所  
 少しく箸を付ける  
 急いで行ってくる  
 一時期だけ流行する  
 日雇い人夫  
 ひよこの様に幼い  
 思い掛けなく突然  
 透明ガラスのどうけ  
 引き抜いてしまおう  
 ねじ曲げる  
 捻り曲げる  
 曳き回す  
 引き剥く  
 冷気を感じる

計算通り、びったんこ でした  
 運動会には、お前ええは、何時も、びつちだな  
 陰で噂流してる、証拠を見付けて、びつちめてやる  
 葉っぱの裏に、虫の卵が、びつちり、付いている  
 此の家の、建て付けは、びつちり、してる  
 先輩に、びつばらいたんで、バスケット部に入えた  
 ひとに、仕事をおつ付けて、てめえは遊んでやがる  
 子供達を皆、ひとにするまで、頑張らなくつちやあ  
 他人様の子に、ひといじり、すんじやねえ  
 ひとつところによ、何時迄も居ねえよ  
 何も、うめえ物ねえが、ひとつぱし、付けてくいせえ  
 銀行へひとつぱしり行ってくつから、待っててくいせ  
 今度の店は、はやってんな、ひとつぱりだべえ  
 めづらしく、身支度して、何んだね、ひよとりだ  
 誕生日前に、ひよこたくひよこたく、歩き出した  
ひよつっこの、くせしやあがつて、生意気だ  
 こないだ、あの人、ひよつこり来たよ、十年振りかな  
 夏、雑魚を捕る漁具  
 古い釘は、ひんぬいちゃべえ、危ぶねえからな  
 無理に、ひんぬじると、ぶつかれるよ  
 此れ、ひんまげたべえ、使い物になんねえ  
 てえした用もねえのに、散々、ひんまわ、された  
 トンモロコシの、皮を、ひんむく  
 蔵の中は、ひんやりする

ふいねえ

増えか

遊んでちゃ、身上うは、ふいねえよ

ふいる

ふうてん

ぶく

ぶちぬく

ぶっかいちやう

ふっかく

ふっかかれる

ふっかかった

ふっかけやがる

ふっかけらいた

ぶっかれちやつた

ふつき

ふつきる

ぶつきった

ぶつくす

ぶつくらす

ぶつくらする

ぶつくれた

ぶつくれちやう

ぶつくじき

ぶつたかる

ぶつたかる

ぶつたける

ぶつたける

ぶつたたねえ

ぶつたつ

ぶつたてる

ぶつたてる

ぶつつあく

ぶつつありこむ

増える

風の如く掴み所の無い人

喪

殴って殴りぬく

叩き割る

噛じる

噛み付かれた

蒸気に吹かれた

大きく吹きかける

煽って持ち上げられる

壊れてしまった

豊富に山程有る

噴き裂ける

皮膚が切れて血が出る

無理に壊す

思い切り殴る

柔らかく膨れる

壊れた

壊れてしまふ

骨継ぎ・接骨院

勢い良く燃え盛る

財政が良くなる

後ろで煽り立てる

風呂を沸かす

腰が持ち上がらねえ

腰を上げる

持ち上げる

家を建てる

割る

座り込む

みじんこは、雨が降れば、自然と、ふいるよ

奴は、ふうてんだから、何言っても、しょうがねえ

今年は、ぶく、かかっているから、神社には行かねえ

悪さばかりすると、捕っちめて、ぶちぬくぞ

叩くと、ガラス戸を、ぶっかいちやうから、止める

リンゴ食うか、丸ごと、ぶっかけ、美味えぞ

犬に、ぶっかかれた、痛かんべえ、早く医者に行け

蒸気が吹き出し、ぶっかかった、ひりひり痛え

要求を大きく、ぶっかけやがる、如何すんべえ

今、迄と、様子が違う、誰かに、ぶっかけらいたな

このおもちゃ折角、直したのに、又ぶっかれちやつた

御馳走だねえ、此所のかあちゃん、ぶつき、だから

できものは、ぶつきる、迄が、痛ええんだよ

ぶつつけて、ぶつきったあ、血が吹き出して痛ええ

無理すると、ぶつくすから、止めて置け

此の餓鬼は、又悪るさする、ぶつくらすぞ

その人の顔は、ぶつくらする、人だべえ

ぶつくれた、からって、泣くな、又買ってやるよ

乱暴すると、ぶつくれちやう、じゃあねえか

骨が折れるから、ぶつくじきへ、連れて行け

焚火が、ぶつたかって、火事になった

近頃、いもちも、ぶつたかって、でっけえ家建てた

此の話、後ろで誰か、ぶつたけ、てる

今、風呂を、ぶつたけるから、じきに、入えられるよ

重過ぎて、腰が、ぶつたたねえ、無理すんな

少し重いけど、ぶつたつか、そろっと立て

タンスのそっち側を、ぶつたてる、場所変えするから

今に家を、ぶつたてる、そしたら、遊びに来てくれ

此の薪、大き過ぎるから、半分に、ぶつつあけ

隣りんちの、縁側に、ぶつつありこむ、んでる

1  
ぶつつあれよ  
ぶつつけらいる  
ぶつつけ  
ぶつつむ  
ぶつてる

おんぶしなさい  
衝突される  
めんこ  
積み込む  
背負つてる

1 1  
ぶつとばさいた  
ぶつとんでった  
ぶつばあたく  
ぶつばあたいて  
ふてえ

吹き飛ばされた  
飛ぶ様に行った  
棒で叩く  
思いつきつて叩く  
不屈き者

1 1  
ふんざばく  
ふんずける  
ふんだくらいた  
ふんでもつて  
ふんでもつてかんど  
ふんと

無理にやぶく  
踏み付ける  
無理に取られた  
それでよ  
そうしてそれから  
本当う

1  
ぶんぬき  
ぶんぬけた  
ふんばく  
ふんまく  
ぶんまく  
ぶんまける  
ぶんまわす  
ぶんまわし

そっくり似てる  
底が抜けた  
踏み付ける  
広く振り撒く  
振り撒く  
ひっくり返す  
振り回す  
コンパス

おんぶ、してやるから、背中に、ぶつつあれよ  
踏み切りは、あぶねえ、電車に、ぶつつけらいる  
武者絵を張る丸いボール紙の玩具、ぶつつけて遊ぶ  
薬を納屋に、ぶつつむから、手伝え

あの娘は、何時も、赤ん坊、ぶつてる、子沢山だから  
でつたえ話で、ぶつとばさいた、其の割にはケチだよ  
事件だと言つて、新聞記者が、ぶつとんでつた  
布団、干せたら良く、ぶつばあたいてから、仕舞え  
良い物だんべえ、財布、ぶつばあたいて、買ってきた  
悪い事、ばかりしている、ふてえ、野郎だ

邪魔な所にポスターを貼つた、ふんざばいてやった  
麦は良く、ふんずける程、根が張つて、良く出来る  
銀行帰りに、金袋を、ふんだくらいた、ひつたくりだ  
でつたえ話してさあ、ふんでもつて、帰えてつた  
ふんでもつてかんどよ、其の挙句、銭集めた  
ふんとだよ、俺らあ、嘘は言わねえよ

此の子は母親に、ぶんぬきだ  
風呂桶の底が、ぶんぬけた、はしゃいでたかな  
書き物してる、近くに來て、紙を、ふんばくな  
下た肥えの、下も肥えは、風上から、ふんまけ  
外車はガソリン、ぶんまく、みてえだ  
偉い事した、おつけ、ぶんまけた、如何うしよう  
竹づつぽ、ぶんまわして、喧嘩をしてる  
ぶんまわしと、三角定規を忘れるな

へええ

灰

糞灰は肥料として売れるので、へええ、買い屋がいた

へええてきた  
へええりこむ  
へええる  
へええれ  
へえき  
へえちやら  
へええてきた  
へえつくばる  
へえつたな  
へえつてる  
へえんなよ  
へげちやつた  
へたなくち  
べちやべちや  
へつたな  
べつたんこ  
べつたんこ  
べつちんこ  
へつてる  
べつてんこ  
べろりん  
べろん  
べんけい  
へんちくりん  
へんねえ

入ってくる  
入り込む  
入る  
入りなさい  
何ともない  
平気  
入いって来た  
這う様にする  
喋つたな  
少なくなっている  
入りなさい  
剥げてしまった  
間違つた口  
だらしなくべとべと  
言つたなあ  
べたつと  
べたつと  
潰れて平になる  
言つてるでしよう  
平でべちんこ  
舌でなめる様  
子供の顔お拭く時言う  
麦蘖を束ね串を刺すもの  
変つた格好  
入いらぬ

お先に風呂に、へええてきた、良い湯だよ  
あの男何時の間に、へええりこむんで、媚面らしてる  
今日のパチンコは良く、へええるな  
外に、つたつてねえで、中に、へええれよ  
血が出ている、痛えか、へえきだよ  
そんな高い所、危ねえぞ、へえちやらだ  
知らねえ人が、へええてきた、誰だんべえ  
へえつくばる、様に、お辞儀をする  
お前え、誰かに、へえつたな、ねえしよなのに  
お客が、へえつてるべえ、夏枯れだから、仕方ねえや  
とば口に居ねえで、中にへえんなよ、話が見えねえ  
ポスターが風で、へげちやつた、テープで止めとけ  
奴は何でも、知ってるから、へたなくちは、きけねえ  
駄目だこの子、顔中う、べちやべちやだよ  
良くも、へつたなもう、勘弁なんねえ  
糊が多過ぎると、べつたんこに、くつついちゃつたう  
かあちんやんに、べつたんこじやあ、何も出来ねえ  
運転台が、べつちんこ、だから、死人が出たべえ  
俺の悪口、へつてるべえ、解つてんだから  
随分、べつてんこ、だあ、膨くらでねえと、売れねえ  
べろりと、なめられた、きみわりい  
ほら、べろんだよ、ああ綺麗になった  
焼いた串刺の魚を、べんけいに、刺して干す、甘露煮  
へんちくりんな、格好してる、あの人変り者だ  
此れ以上は、一杯で、へんねえよ

ほいほいする

115

大事にしてほめる

あんまり、ほいほいするから、我が俵になるんだ



ほうれみろ  
 ほかんつり  
 ほしたら  
 ほだく  
 ほっかぶり  
 ほっこみ  
 ほっこれちやつた  
 ほっち  
 ほっとしたら  
 ほっぼと  
 ほっぼと  
 ほっぼと  
 ほっぼと  
 ほっぼと  
 ほっぼりこむ  
 ほっぼりだす  
 ほっぼりだす  
 ほてほて  
 ほてつく  
 ほりっこ

それ見なさい  
 竿に糸短く重り付け釣る  
 そうしたら  
 文句を言う  
 都合の悪い時顔を隠す  
 田んぼの中に掘った池  
 壊れてしまった  
 藁を高く積む  
 若かしたら  
 勢い良く燃える  
 顔が熱くなり赤くなる  
 其の俣放置して置け  
 放り出して置きなさい  
 投げ入れる  
 放り出す  
 捨てる様に追い出す  
 ふつくらと厚手  
 ふかふかとして厚過ぎる  
 用排水の小掘り

ほうれみろ、言わねえ、こっちやねえ  
 鮎・食用蛙等を捕る時の方法、蛙は夜電気付けて捕る  
 やって呉れるかい手間は弾むよ、ほしたら、やるべえ  
 其んなに、ほだく、んなら、自分で、やって見せ  
 自分の事は、ほっかぶりして、人の事はかり言う  
 耕地中の、ほっこみに、えびがにが、一杯えいるよ  
 遂に、ほっこれちやつた、買い替える時期かな  
 ほっちは、ぬくてえから、日向ほっこに良い  
 ほっとしたら、まだ在るかな、みてみんべえ  
 ほっぼと、燃える  
 恥ずかしくって、ほっぼと、しゃった  
 訳の解んねえ事、言う奴は、ほっぼとけ  
 奴のもんだ、ほっぼとけ、いまに取りにくんべえ  
 臭いから、ごみ溜めん中に、ほっぼりこむ  
 汚ねえから外へ、ほっぼりだす  
 今あに、いらなくなんと、ほっぼりださ、れんぞ  
 このジャケツ、ほてほて、してめくてえ  
 このシャツは、ほてついて、春向きじゃねえ  
 此の、ほりっこ、飛び越せるかな、おっこちるなよ

まああ  
 まああいいや  
 まああだ  
 まああだだよ  
 まああな  
 まあっさか  
 まがええ  
 まがわりい  
 まじいいな  
 まじねえ  
 ましだんべえ  
 まずかんべえ  
 まずまじしい  
 まちように  
 まっさかに  
 まっさら  
 まっちら  
 まっちらんねえ  
 まっつぐ  
 まっつぐ  
 まつててろ  
 まつててくいせ  
 まつてらんねえ  
 まつとり  
 まつとり  
 まてねえ  
 まねすんな  
 まるく  
 まるまっこい

驚きの声  
 それはそれとして  
 未だに  
 もすこし待っていて  
 世間並みに  
 考えられない  
 丁度都合良い  
 巡り合せが悪い  
 具合が悪い  
 呪い  
 まさっている  
 具合が悪いでしょう  
 如何にも不味そう  
 真ともに一人前  
 驚く程  
 真新しい  
 末社・枝の枝  
 待つてなど居られない  
 真つ直ぐ  
 待つていなさい  
 待つていて下さい  
 待つて居られない  
 その俣真直ぐ  
 道に沿って真直ぐ  
 待つてない  
 その様な事するな  
 束ねる  
 やや丸い

まああ、この子は泥だらけで、家にながって来た  
 遅れちゃったなあ、まああいいや、何とかなんべえ  
 宿題終ったか、まああだ、やつてねえ、解んねえ  
 もう嫁っこ来たか、まああだだよ、おっつけ来んべえ  
 成績良かったべえ、まああな  
 あの泥棒だなんて、まあっさか、そんなはずねえ  
 そいつは、まがええな、思ったよりまくいくべえ  
 まがわりい、時には、悪いもんだ、可哀想な事した  
 そいつは、まじいいな、二人は逢わねえ方がええぞ  
 どっか悪い所あんだべえ、まじねえ師に、見てもらえ  
 借金するより儉約した方が、ましだんべえ  
 そりゃあ、まずかんべえ、早く直して置け  
 此の料理、如何にも、まずまじしい、喉に通らねえ  
 何んとかかんとか、まちように、やつてる様だ  
 まっさかに、うめえもんだ、俺らあ、った事もねえ  
 まっさらの、洋服着て何けえ行く  
 本家は立派だが、俺らはまっちらやだから、げえもねえ  
 支度が未だか、まっちらんねえ、先に行くかんな  
 この道は、まっつぐ、で、町に行くよ  
 ちよっくら、行つてくつから、まっつてろ  
 時間迄には、帰るから、まっつてくいせ  
 遅くつて、まってらんねえ、電車が来る  
 教わった通り、まっつとりな、気持で生きて行け  
 此の道、まっつとり行つて、どんと突き当たつて右だ  
 もう時間が、ねえから、まてねえよ  
 嫁をいじめる様な、まねすんな、外え聞悪いいかな  
 此の糞、まるくんか、大丸きにしる  
 まるまっこいな、もつと、べつてんこに、なんねえか

まんま  
まんま

御飯  
その俵

腹すいた、早く、まんま、にして、くいせえ  
急いたんで、この、まんま、用度しに来ちやった

み

みあげたもん  
みずれえ  
みせえ  
みせつから  
みせてみせえ  
みそつかす  
みたことか  
みたこつた  
みたんねえ  
みたんべえ  
みちやあらんねえ  
みつともねえ  
みつんぼ  
みてえだ  
みてせえ  
みてみせえ  
みみっちい  
みろよ  
みろつてばあ

誉められる事  
見苦しく醜い  
見なさい  
見せて上げる  
見せて御覧なさい  
どうでもいい粕  
それ御覧なさい  
言う通りだ  
思つて居る依り足りない  
見たでしよう  
見ていられない  
見た目が悪い  
仲間はずれ  
そのようだ  
見て居なさい  
見て御覧なさい  
けちくさくしみつたれ  
見なさい  
見なさいと言うのに

偉えなあ、みあげたもんだ、答辞読むんだつてな  
こんな格好悪い、服じああ、みずれえよ  
そうれ、みせえ、言わぬこつちやねえ  
良いもの、みせつから、こつちえ来い  
怪我してる、みせてみせえ、早く医者に行かねば  
俺らあ、みそつかすだから、何処へすつとんでも良い  
それ、みたことか、言わねえこつちやねえ  
危ねえから行くな、それみたこつた、痛くしたべえ  
旦那が、みたんねえから、奥さんが、やきやきしてる  
今朝の新聞、みたんべえ、一面トップだよ  
べたべたくつついて、みちやあらんねえ  
そんな、みつともねえ、事すんな、みずれえ  
俺らあ、みつんぼだから、近所の事は、何も解んねえ  
でつかい音したなあ、事故、みてえだ、行って見せえ  
今に思い知らして、やるから、みてせえ  
ビデオの面白れえの有るよ、みせつから、みてみせえ  
そんな、みみっちい事すんな、笑いちゃうぞ  
みろよ、でっけい事べえ言つたつて、あのさまだ  
此方へ来て早く、テレビ、みろつてばあ、面白れえよ

1

む

むくじる

むりに皮を剥く

日焼けした背中の皮を、むくじる

むぐる  
むくれる  
むこうむけえ  
むせえな  
むせつけえ  
むせつけえつても  
むせつけえ  
むせつけえす  
むせつけえもねえ  
むつくり  
むらつきだす  
むらつけえ  
むりすんな  
むんずりと

水に潜る  
氣に入らなくてふくれる  
川の向う岸  
思ったよりも沢山有る  
むせつぽい  
席立てて急がせても  
何度もむせ返る  
蒸し返す  
度を過ごす  
小山の様に盛り上がる  
氣が散り不満足  
氣が散って定まらない人  
見栄を張るな  
強く大掴みに掴む

ムグリツチヨは水に、むぐつて、魚を捕る  
何に、むくれてる、んだ、言ってみろ  
川の、むこうむけえに、渡るにや、舟つきりねえ  
此の握り飯は、むせえな、一つで腹が一杯だ  
此の芋は、ぼくぼくして、むせつけえな  
本人次第だから、むせつけえつても、しょうがねえ  
乾いた粉が氣管に入り、むせつけえす、な  
もう済んだ事だから、むせつけえす、な  
御馳走が多すぎて、むせつけえもねえ  
むつくりと、起き上がる  
むらつきだして、一人じゃ納まんねえ、悪い癖だ  
むらつけえ、だから、落ち着け方がいいがな  
ありもしねえのに、むりすんな、後がてえへんだぞ  
威猛だけに、むんずりと、掴まれた

め

めいかけ  
めいっぺえ  
めええねえ  
めええ  
めえから  
めえだまだんご  
めえのち  
めえめえから  
めっかつた  
めっかつちやつた  
めっからねえ

前掛け  
精一杯  
見えない  
見える  
前えから  
柳の枝に団子を刺し祝う  
前の家  
づつと前から  
見っかつた  
見っかつてしまった  
見っからない

汚れるから、めいかけ、掛けて来い  
腹が減ったので、めいっぺえ、食っちゃつた  
親父居るかい、そこいらに、めええねえ、かい  
何処も彼此処も良く、めええ、所ろだろう  
あの人は、めえから、良く知っている  
爾が取れる様との行事、めえだまだんご焼くとうめえ  
ばあさまめええねえな、めえのちで、お茶飲んでるよ  
此の事は、めえめえから、言おうと思つた  
めっかつたか、皆で探してんのに、何処へ行つたべえ  
家出して彼の家に、隠ねて居たが、めっかつちやつた  
何処探がしても、めっからねえ、いねえよ

めつけた  
めつけもん  
めつけちやつた  
めつたに  
めんこ  
めんこ  
めんこ

見つけた  
掘り出しもの  
探し当てた  
やたらに  
土で焼いた遊び道具  
武者絵の丸いボール紙

朝から、探して、居たがやつと、めつけた  
丁度良い時に、此んな話は、めつけもんだよ  
隠してあった、良い物、めつけちやつた  
こんなに、良い話は、めつたに、ねえぞ  
どろめんこ顔を土で焼いたもの明治大正期子供の遊び  
土の上に叩き付け相手を風でひっくり返しかつたくる

も

もういい  
もういいよ  
もうじき  
もうく  
もうち  
もちいつと  
もちづれえ  
もちよつと  
もつくり  
もつこり  
もつたねえ  
もつてえつける  
もつてえねえ  
もつてかす  
もつてく  
もつてけ  
もてつかす  
もとっこ  
ものき

これ以上はたくさん  
待たしたが始めてもいいよ  
間もなく  
藻  
鳥もち  
もすこし  
持ちにくい  
もう少し  
くりくりと小太り  
少し盛り上がる  
惜しい事した  
大事そうに振る舞う  
勿体ない  
持って行かせる  
持って行く  
持って行く  
もて過ぎて身心が荒む  
もともと  
物置

一杯え食えよ、もういい、そんなに食えねえ  
待たしたな揃ったから、もういいよ、始めんべえ  
もうじき、始まるよ集まれ  
明日は用水の、もく、刈りに出て下さい  
篠竹の先穂に、もうちを、付けてセンチを捕る  
もちいつとで、一等賞取れたのに、惜しかったね  
荷物、まるまっこくって、もちづれえ  
もちよつと、右へ寄ってくいせえ、見えねえから  
あの人、ずんぐり、もつくりで、やああだ  
もぐらが、居るな、彼方此方土が、もつこり、してる  
あの地所、売っちゃつたのか、もつたねえ、事したな  
もつてえつけて、ねえで、早く見せろよ  
食べられるのに、捨てちゃつて、もつてえねえ  
嫁に、みやげを、もつてかす、様に、用意して有る  
盆には、提灯と、花と、線香を、お墓に、もつてく  
ぼた餅、出来た、やつから、一杯、もつてけよ  
若けえうち、持て過ぎて、もてつかすに、なつた  
失敗しても、もとっこ、だから、やるだけやれ  
鍬は洗って、ものきに、仕舞つとけ

ものび  
もますな  
もむな  
もよつて  
もんでえだ  
もんけん

祝祭日や休みの日  
波風立てさすな  
荒だてるな  
話逢つて集まる  
問題だ  
杭打ちの道具で重り

今日は、ものび、だから、何処つかへ遊びに行くべえ  
変な話持ち込んで、家の中、もますな  
少し位えで、もむなよ、寝てる子起こす様なもんだ  
お前達大勢、もよつて、何処けえ行くんだ  
其の件に、関しては、もんでえだ  
ウインチで、もんけんを、引き上げ、杭を打ち込む

や

1  
やああだあ  
やああだつてば  
やああだもん  
やああだよ  
やああだよ  
やああだようだ  
やああなき  
やああなくそ  
やああべえ  
やさいよ  
やさっこい  
やだ  
やっから  
やっから  
やっところ  
やったべえ  
やっちやいよ  
やっちやいよ  
やっつける  
やっぱ

あらいやだ  
嫌だと言つてるのに  
嫌ですもの  
嫌ですよ  
嫌だよ  
嫌な気持  
嫌だよううだ  
一緒に行かないか  
たやすいよ  
やさしいよ  
嫌だ  
葦の生ている原  
君に上げるから  
やっこの思いで  
仕たでしよう  
早く終らせなさい  
呉れてやりなさい  
大仕事を片付ける  
短刀

あ、やああだあ、みつともねえ  
遊んでねえで、早く行くべえ、やああだつてば  
其んな事、言つたつて、俺らあ、やああだもん  
そう言つたつて、やああなものは、やああだよ  
俺にも、くいせえ、やああだようだ  
あん人は、やああなき、がしる、きびわりいもん  
誰が其んな所、行くもんか、やああなくそ  
今日は不動様だ、ついてくから、やああべえ  
この算数、出来るかい、そんなの、やさいよ  
この問題、やつて見たら、わりと、やさっこいよ  
早く行くべえ、やだ、置いてくぞ  
昼飯、食つたら、やっからで、遊んべえ  
これお前えに、やっから、遊んで、くいせ  
やっところ、間に合つた  
お前えこれを、やつたべえ、俺じやあねえ  
ぐずぐずしてねえで、早く、やっちやいよ  
それ、やっちやいよ、俺いの、なくなつちやう  
もう一っ帳場だ、今日中に、やっつけるか  
喧嘩して、やっぱで、刺された

や やてばたてば

やべえ

やまねえ

やめねえ

やめろつてば

やめろよ

やらねえ

やらねえか

やらねえか

やらねえか

やるたんび

やろうかあ

やんな

ゆ

ゆううや

ゆっちやう

ゆっちやうた

ゆつつける

ゆつつけちやう

ゆつてみる

ゆつてみる

ゆんべっけ

今すぐ急に

行こう

一緒に行こう

止まらない

止めない

止めなさいと言うのに

止めなさい

呉れない

分けてやらないか

やりませんか

やるの止めにしようか

その都度

呉れ様うか

やりなさい

止めなさい

銭湯

言い付ける

話してしまった

言い付けるぞ

言い付けてやる

話してみなさい

喋って見る

昨夜の気が抜けていない

やてばたてばに、言われたって、返事が出来ねえ

鎌とざる、持って畑へ、やべえ

天王様、賑やかだから、よそ行き着て、やべえや

泣き、やまねえ、何処か悪いのかな

皆んな、止めちやうたが、俺らあ、やめねえ

賭事は、やめろつてば、やめろ、今にろくな事ねえ

危ねえから、やめろよ、今に大怪我すつからな

お前えには、さつき、やうたから、もう、やらねえ

あの子にも別けて、やらねえか、いいよ、やるよ

良い話したと、思うが、やらねえか、儲かるよ

頼まれたんだが、やらねえかと、思ってたんだ

やるたんびに、儲かる様なら、いいがな

うまい菓子だからお前えにも、半分、やろうかあ

その仕事、やんなよ、きつと成功するよ

そんな事したって、しょうがねえ、やんなよ

汗かいたから、ゆううやで、一風呂浴びてくる

遊んでばかりいる、とうちゃんに、ゆっちやうから

ねえしよの話だに、ゆっちやうたのか、まづいな

当番しねえで、遊んでると、先生に、ゆつつけるぞ

お前えら、何やってる、先生に、ゆつつけちやうぞ

何があったのか、ゆつてみる、聞いてやるから

ゆつてみる、只ちや、置かねえかんな

ほんやりして、ゆんべっけ、じゃあねえのかな

1

よおうく  
 ようつり  
 よかあねえ  
 よかねえこと  
 よこさねえ  
 よこせ  
 よこせつてば  
 よこづつほくれる  
 よこときく  
 よさねかあ  
 よした  
 よしだ  
 よしくてくいせえ  
 よしてみせ  
 よしてみろ  
 よしやあがれ  
 よせつてば  
 よせよ  
 よせろ  
 よせる  
 よそいき  
 よつかかっっちゃあ  
 よっこす  
 よったかつて  
 よつつけねえ  
 よつてかねえけ  
 よつてく

良く良く  
 魚釣り  
 良くはない  
 良くない事  
 渡さない  
 渡しなさい  
 渡せと言ってるのに  
 顔の反面を叩く  
 言う事を利く  
 止しなさいと言うのに  
 止めた  
 止めにしよう  
 止めて下さい  
 試しに止めてみなさい  
 止めて見ろ  
 勝手に止めなさい  
 止しなさいと言うのに  
 止めなさい  
 端へ寄せ付けなさい  
 一つにする  
 外出着  
 寄り掛かっっては  
 脇に移し変える  
 寄ってたかつて  
 側に寄れない  
 寄って行かないか  
 寄って行く

何処にもねえよ、よおうく、見ろ、何処かに有るよ  
 裏の川で、ちよつくら、ようつり、してくる  
 此んで良いかな、せいじあ、よかあねえな  
 又、よかねえこと、考げえてるな  
 一人占めして、何一つ、よこさねえ  
 良い物持ってんなあ、俺に、よこせ、やあだよ  
 それは俺のだから、よこせつてば  
 生意気だから、よこずつぽ、くれた  
 この子は良く、よこときくなあ、今に偉くなんべえ  
 悪さばっかりして、よさねかあ、ぶつとばすぞ  
 未だやっつてんのか、もう、よしたよ  
 こんな事、よしだ、もつと良い事あんべえ  
 意地悪は、よしくてくいせえ、先生にゆってやる  
 ぼつとして薬の後遺症かな、其の薬、よしてみせえ  
 面倒の見過ぎだ、しばらく、手だしは、よしてみろ  
 そんな勝手な事、言うなら、よしやあがれ  
 痛てえから、よせつてば、腕が、ひつちげえるよ  
 危ねえから、よせよ、怪我するぞ  
 その荷物、よせろ、通れねえよ  
 如何う、まるくんだ、十づつ、よせるんだ  
 よそいき、着て、何処え行くんだ  
 そんなに、よつかかっっちゃあ、重いよ  
 邪魔だから、はじっこへ、よっこして、置け  
 皆んなで、よったかつて、いじめてる  
 景気良くて、よつつけねえ、吹つとばされんぞ  
 よつてかねえけ、お茶でも入れるよ  
 用足し、済んだら、よつてくよ



よってくいせ  
よってくる  
よってけよ  
よってつてくいせえ  
よっしゃかあ  
よっしゃああか  
よっしゃいよ  
よっびて  
よばつてくる  
よばつて  
よばねえよ  
よばれてる  
よめこう

寄って下さい  
寄り道して来る  
寄って行きませんか  
是非寄って下さい  
止めようか  
止めちゃおうか  
止めちゃいよ  
夜を通して  
呼んでくる  
呼んで  
呼んでいない  
招待を受けている  
若妻達の集会、嫁講

俺れんちにも、よってくいせ  
学校の帰りに、友達んちに、よってくる  
帰りに俺らちに、よってけよ、兎が仔を生んだから  
たまには、よってつてくいせえ、空つ茶べえだがよ  
つまんねえや、よっしゃかあ、外の事、やんべえ  
お陰がねえから、よっしゃあか  
そんな事、無駄だから、よっしゃいよ  
終んねえと、見えて、よっびて、灯りが付いている  
隣のかあちゃん、よばつてくつから、待っててな  
かあや、隣で、よばつてるよ  
俺れん事、よばつてるのか、誰もよばねえよ  
隣りの茶ぶるめえに、よばれてる、何着てくつかな  
今晚七時から会所で、よめこうだよ

ら

1  
らいさま  
らくちん  
らちあかねえ  
らちやあねえ  
らちやくちやあねえ  
らんげえ  
らんねえ

雷  
樂をする  
決りが付かない  
駄物で大した物でない  
整理が付かぬ  
たいそうなもてなし  
られない

北の空が光ってる、らいさまが、来るかな  
荷車の、後に、ぶら下がると、らくちんだよ  
面倒な話で、ちよつくら、らちあかねえ  
荷送、てえしたもんだ、なに、らちやあねえよ  
秋の取り込み、最中で、らちやくちやあねえ  
大した事もしねえのに、らんげえと、困っちゃう  
行って、らんねえ・やっつらんねえ等

れ

れろれる

口が つれて話せない様

酒を、飲み過ぎたから、れろれるに、なつた

1  
れいれいしく

きらびやかに整然と

れいれいしく、見せびらかして、みっともねえ

ろ

1

ろくをだす  
ろくすつぽ  
ろくなことねえ  
ろくなもん  
ろくでねえ  
ろくでもねえ  
ろくにみねえ  
ろくなこつちやねえ  
ろくろく

水平を見る  
まともに  
良い事はない  
くだらない者  
つまらない事  
大した事ではない  
大して良く見ない  
良い事がない  
良く

棚は、ろくをだしてから、釘を打て  
ろくすつぽ、勉強もしねえで、合格した  
やくざと付き合つてると、ろくなことねえぞ  
遊んで、ばかりいると、ろくなもんには、なんねえ  
ろくでねえ、事すんなあ、近所迷惑だべえ  
お前えは、ろくでもねえ、事ばかりする  
問題を、ろくにみねえから、間違うんだ  
ふざけると、ろくなこつちやねえ、今に怪我するぞ  
合わねえ服買ったなあ、ろくろく、見ねえんだべえ

わ

わああかける  
わかしつけえし  
わかんねえ  
わきやねえ  
わけえしこう  
わけえなあ  
わけえねえ  
わけねえよ  
わけわかんねえ  
わざに

其れに加えて  
水を替えず風呂を沸す  
考えても解らない  
簡単に出来る  
若い衆の講  
熟し足りない  
たやすい事  
分けてやらない  
何んの事か解らない  
やろうとして

面白く、わああかけて、話すから大袈裟になるんだ  
夕べの湯が、綺麗だったから、わかしつけえした  
宿題出来たか、わかんねえ、所を、おせてくいせえ  
ワープロは難しい、覚えれば、わきやねえよ  
何の集まりだ、祭りの話で、わけえしこうだべえ  
此のトウナス、少し、わけえなあ  
やってくれるか、御苦労だな、わけえねえよ  
株わけてくいせえ、誰が来ても、わけねえよ  
わけわかんねえ、よく話して見る  
わざに、したんじやねえから、勘弁してやれ

わざつと  
 わつか  
 わつかく  
 わつかまわし  
 わつつあく  
 わっぱ  
 わっぱまわし  
 わらいちやう  
 わらせやがる  
 わらつちやう  
 わらづつぽ  
 わらぼっち  
 わりいなあ  
 わりいけんど  
 わりいべえ  
 わりかんべえ  
 わんざに  
 わりと

承知して  
 丸い輪  
 割る  
 リームの溝に棒を当て遊ぶ  
 裂く  
 車の輪  
 車の運転士  
 笑われちやう  
 笑わせるな  
 笑ってしまふ  
 藁で作った束  
 藁を積み上げた山  
 悪るいですね  
 悪るいと思うけど  
 悪るいでしよう  
 悪るいのではないか  
 承知で  
 比較的

あ奴、わざつと、やったな、勘弁なんねえ  
 紐で丸く、わつかを作る  
 くるみ一杯買った、わつかかけねえから、食べねえ  
 自転車ルームで、わつかまわしして、遊んべえ  
 此の薪、大き過ぎるから、半分に、わつつあく  
 荷車の、わっぱが、とぶに、はまって、動けねえ  
 お前え今、何やってる、俺らあ、わっぱまわしだよ  
 訳の、解らねえ事、言ってる、わらいちやうよ  
 こないだ迄は、貧乏なくせして、わらせやがる  
 わらつちやうよ、何んにも知ねえ、でしやべってる  
 わらづつぽで、チャンバラごっこ、して遊ぼう  
 風上げは、上がったら、わらぼっちが、ぬくてえよ  
 忙しいのに、邪魔して、わりいなあ  
 今日、わりいけんど、先にけるよ  
 世話に成ってるのに、せいじや、わりいべえ  
 其こまで悪く言つちやあ、わりかんべえ  
 わんざに、やったんじやねえから、勘弁な  
 此の絵は、わりと、良い出来だね、気に入った

# 父母・兄弟・男女 改補編 Ⅱ

父親

ちゃん・ちやあちゃん・とうちゃん・とつちゃん・おとつあん・おとつちゃん・おやじ  
・おとうちゃん

母親

かああや・おつかああ・かあかああ・かああちゃん・おつかちゃん・おふくろ

兄

おにい・あんちゃん・にいちゃん・せな・あにき

弟

名前で呼び捨てか、ちゃん付けが多い・しゃてい・おじい・おんじい・じなんぼ

姉

あんねえ・あねえ・ねえちゃん・おねえちゃん・あねぎ

妹

名前で呼び捨てか、ちゃん付けが多い

祖父

ぢい・ぢさま・ぢぢい・ぢいっちゃん・ぢいいちゃん・おぢいちゃん・ぢさま

祖母

ばああ・ばさま・ばばあ・ばああさま・ばああや・ばああちゃん・おばああちゃん

男の子

やろっこ・あんちゃん・長男はせな・弟はおじい

女の子

あまっこ・あまっちょ・ねえちゃん

下男

何々どん・あんちゃん・わけええし

下女

ねええや・ねええちゃん・あんねえ・何々ちゃん

他

おはりっこ・がっこっこ・おんなっこ・むすめっこ・もりっこ・よめっこ・おんなたち  
むらのでえ・わけええし・やろっこ・おとっこ・あんちゃん

# 身体

頭

いしあたま ・ うすのろ ・ うすばか ・ たんねえ ・ てんぼうせん ・ とうなすあたま ・ のうてん  
・ とんかちあたま ・ のうてんき ・ のうたりん ・ はちぶごりん ・ もうろく

頭の形

かさいらず ・ せつべき ・ びった ・ びってんこ ・ ふじびたい

髪・毛

あかつけ ・ けば ・ じやりつばげ ・ ちじれつけ ・ つるつばげ ・ つんつるてん ・ 二錢ばげ  
一錢ばげ ・ じやりつばげ ・ うすつけ ・ けむくじやら

首・顔

くびったま ・ くびねっこ ・ ちちっこ ・ あおたんびょう ・ げた ・ きつね ・ のつべり

眉毛

げじげじ ・ まみや

眼

あかんべえ ・ さんばくがん ・ どんぐりまなこ ・ めくら ・ めっかち ・ めんたま ・ やぶにらみ  
・ やんめ ・ ロンドンバリ

耳

つんぼ ・ みみたぼ ・ みみだれ ・ みみつかす ・ ふくみみ

鼻

はなっかけ ・ はなつたらし ・ はなつたれ ・ はなつぼろ ・ はなめど ・ だんごつばな  
ししつばな ・ はなつんぼ ・ はなめど

口・歯

おし ・ うし ・ うしんぼ ・ みつくち ・ そつば ・ ぞつば ・ みそつば ・ はっかけ ・ はぐら

胸

せんたくいた ・ はとむね

手

てんぼ ・ てつき ・ てだし ・ てばやい ・ てつとりばやい ・ てつばなし ・ てばやし ・ てばな

へそ

でべそ ・ へそまがり

尻・腰 じつけつ ・でつちり ・でんげつ ・へっぴりごし ・柳腰 ・ずんどう

足 おおあし ・いざり ・かたちんば ・がりまた ・だんびら ・ちんば ・でええこんあし ・びっこ

体型 でぶ ・百貫でぶ ・空気でぶ ・ちび ・ちびっこ ・のっほ ・ほそ ・ほそっほ ・やせ ・やせっぼ

# 気 ・ 気持

あ あきっぱ ・あかく ・あくたれ ・あきちやう ・あたす ・あまったれ ・あんちぎしょう ・あんげえ ・あつけらかん

い いいき ・いいきび ・いかげん ・いかげんそう ・いけすかね ・いじいじする ・いじつくれる  
・いじつつつく ・いせえ ・いせえつける ・いせわりい ・いやみったらしい ・いやらしい  
いけわるさ ・いんがみる

う うかつく ・うすつかまねえ ・うすつき ・うすつきも ・うすつきび ・うすつくら  
・うすつとぼけ ・うるせええ ・うんざり

え えげつねえ ・えぱりつちらす ・えぱりつくさる ・えばる ・ええあんべえ ・ええきび ・えかげん  
んそう ・えけすかねえ

お おおちやく ・おおぶろしき ・おおほら ・おおまか ・おかしい ・おさまんねえ ・おづおづ  
おさまりつかねえ ・おちおちしてらんねえ ・おつかまねえ ・おつかねえ ・おつくうがる ・  
おつくう ・おつそろしい ・おったまげる ・おちよこちよい ・おつとり ・おてんきや ・  
おとなげねえ ・おひやらがし ・おめえのほか ・おべっか ・おりこさばる

か がっかり ・ がっかり ・ かつくん ・ かつけなす ・ かつたりい ・ かまかける ・ かまける ・  
かまねえ ・ がら ・ がらがら ・ がらねえ ・ かんしゃく ・ かんべんな

き きがふれる ・ きがしれねえ ・ きぐれえ ・ きくんじゃねえ ・ きぐんなねえ ・ きけねえ ・  
きげんかい ・ きごる ・ きざ ・ きざく ・ きざつけえ ・ きぜわしい ・ きちげえ ・ きちようめん  
・ きなり ・ きもち ・ きびわりい ・ きま ・ きもういれる

く くいしんぼう ・ くうくう ・ くえねえ ・ くげん ・ くさくさ ・ くすぐってえ ・ くだびれた ・  
くそおもしろくねえ ・ くだらねえ ・ ぐったり ・ ぐっと ・ ぐづゆう ・ くびったけ

け げええぶんわりい ・ げええもねえ ・ けたつくそわりい ・ けちくせえ ・ けち ・ けっちゃんぼ  
けちよんけちよん ・ けちる ・ げっそり ・ けっぶり ・ げんなり ・ けんのん

こ ごおつくばり ・ こきおろす ・ こきみがええ ・ こきみがわりい ・ こざっばり ・ こざっけえ ・  
こすい ・ こすつかれえ ・ こすつくれえ ・ こすっけえ ・ こすっこい ・ こせこせ ・ こそっぺえ  
・ こまつけえ ・ こっばづかしい ・ こにくらしい ・ こまつちやう ・ こまつちやくれる ・ こりた  
・ こりきつちやう ・ こりごり ・ ごろまく ・ こんちきしょう

さ さあめのごとく ・ さくい ・ さっばり ・ さしこみ ・ さばける ・ さばさば ・ さまあみろ ・  
さむつつらし ・ さらっぺ

し しくしく ・ しくたく ・ しっかり ・ しっちやいねえ ・ しぶちん ・ しぶてえ ・ しみったれ ・  
しやつきり ・ しやあしやあ ・ しやらくせえ ・ しよがねえ ・ しよがねえ ・ しよってえ ・  
しよっぺえ ・ しるもんか ・ しわんぼう ・ しらっばくれる ・ しらばっくれる ・ じれってえ ・  
しんきくせえ

す すいきよう ・ すいぶん ・ すうずうしい ・ すかす ・ すかしっぺ ・ すかねえ ・ すげええ ・  
すつかまねえ ・ すっこむ ・ すっこける ・ すったんき ・ すつつこく ・ すつとほける ・ すつとん  
きょう ・ すぼら ・ するっこすい ・ するい ・ すます

せ せええがでる ・ せえせえする ・ せかせか ・ せせっこましい ・ せつかち ・ せっこむ ・ せびる  
 ・ せびらいる ・ せまつくるしい ・ せつちよう ・ せつつく ・ せめえ ・ せわねえ  
 そ うれみる ・ そつけねえ ・ そつけもねえ ・ そつぼむく ・ そらああねえ ・ そらつとほける ・  
 そらつぼいてる ・ それみせえ ・ それみちこつた  
 た まげた ・ たんまげた ・ たまんねえ ・ たあんき ・ たんねえ ・ たんねん ・ たんばら  
 ち ちつたらちつたら ・ ちつぼつけ ・ ちやつかり ・ ちんちくせえ  
 つ つつかかる ・ つつけんどん ・ つつつく ・ つましい ・ づるっこい ・ づるっこすい ・ づるづる  
 ・ づらつけねえ ・ つんとする ・ づるづるべつたり ・ つんつん  
 て じゃばり ・ だががり ・ でべそ  
 と とがめる ・ とがめらいた ・ とげとげ ・ とっこしぐるう ・ とつびようし ・ とんがる ・ とんちぎ  
 に にくてえ ・ にくたらしい ・ にやける ・ にやけつぼい ・ にやけつたらしい  
 ね ねちやねちや ・ ねつい ・ ねつつけえ ・ ねちちりもつちり  
 の のて ・ のうたりん ・ のうてんき ・ のへえのへえ ・ のんき  
 は はぎしり ・ はぐらかし ・ はしっこい ・ はすっぱ ・ はつばかける ・ ばつわりい ・ はなつぱし  
 ・ はにかみ ・ はらんべえ  
 ひ ひつっこい ・ ひねっくれ  
 ふ ふくれる ・ ふつき ・ ふつきる ・ ふてぶてしい ・ ふんばる ・ ふんぞりけええる



へ ええき ・へえつちやら ・へんてこ ・へんてこりん ・へんちくりん

ほ ぼつとする ・ほやく ・ほらみき ・ほんき ・ほんとき

ま まけんき ・ませてる ・まっちゃいらんねえ ・まね ・まんざら

み みずれえ ・みたんねえ ・みつともねえ ・みみっちい

む ねかっぱら ・むかむか ・むきんなる ・むくれる ・むこつき ・むしように ・むせつけええ  
むつと ・むらむら ・むらつき ・むらっけえ

も ものぐさ ・もじもじ

や やああだあ ・やああなき ・やあんなつちやう ・やけじゆうの ・やけんなる ・やつかみ ・やて  
ばたてば ・やみやみしい ・やるき ・やんだあ ・やんちゃ ・やんわり

ゆ ゆんべっけ

### 接頭語

う うすつ 〓 うすつかまねえ ・うすつきびわりい ・うすつとほける ・うすつきもいれる

う わっ 〓 うわっか ・うわつら ・うわっぺら

お おっつ 〓 おっつきる ・おっつこぼす ・おっつぐ ・おつとばす ・おつたまげる ・おっばる



ふ

ふっ Ⅱ ふっかく ・ ふつとばす ・ ふつたてる ・ ふつかかる ・ ふっかける ・ ふつたたねえ

ぶっ Ⅱ ぶつくす ・ ぶつくらす ・ ぶつとばす ・ ぶつたたく ・ ぶつころす ・ ぶつきる

ぶつつかる ・ ぶつくじき ・ ぶつちぎる ・ ぶつかれる ・ ぶつつありこむ

ふん Ⅱ ふんざばく ・ ふんづける ・ ふんじばる ・ ふんばく ・ ふんばり ・ ふんだくる

ふんぞりけえる

ぶん Ⅱ ぶんなぐる ・ ぶんぬき ・ ぶんぬく ・ ぶんどる ・ ぶんまわす ・ ぶんまける

ほ

ほっ Ⅱ ほっかぶり ・ ほっぼりだす ・ ほっほつとけ ・ ほっぼりっぱなし ・ ほつたらかし

ほっほりこむ ・ ほつつく

ほっ Ⅱ ほっほりこむ ・ ほっほる ・ ほっこむ ・ ほっこれちやつた ・ ほっほつと ・ ほっこみ

### 接尾語

あ

あらああ Ⅱ いらあらああ ・ うんとあらああ

か

がる Ⅱ おつくうがる ・ おつころがる

く

くさる Ⅱ うんざりしくさる ・ えぱりつくさる

け

けええ Ⅱ きざっけええ ・ ちっちやつけええ

こ

こ

||

あまっこ ・ あなっこ ・ あなめっこ ・ おんなっこ ・ おはりっこ ・ おとっこ ・ おこうこ ・ おつかけっこ ・ かけっこ ・ かくねっこ ・ がっこ ・ おはりっこ ・ こうこ ・ さっこ ・ ずっけっこ ・ ツトッコ ・ てんでんこ ・ とっけっこ ・ ぢぢっこ ・ なかめっこ ・ なっこ ・ ニシヤドッコ ・ ネエニゴ ・ ねんねこ ・ はじっこ ・ びっこ ・ びったんこ ・ べったんこ ・ べってんこ ・ べっちゃんこ ・ ほりっこ ・ メソッコ ・ どんこ ・ もとっこ ・ もりっこ ・ やろっこ ・ よめっこ

こった

||

おんなじこった ・ そうれみたこった ・ えれえこった

そ

そう

||

いかげんそう ・ なさそう ・ だめそう ・ やりそう

た

たれ

||

あまったれ ・ くそったれ ・ ばかったれ

ち

ちやう

||

おっつけちやう ・ こりきच्चやう

ちやった

||

くっついちやった ・ ばかみちやった ・ やめちやった ・ いっちやった

ちよ

||

スイッチョ ・ カガメッチョ ・ ムグリッチョ ・ あまっちょ

て

てる

||

おつかぶさってる ・ へたばってる ・ おつぶてる ・ おぶってる

ね

ねええ

||

おさまんねええ ・ きがしれねええ ・ いかねええ ・ いけねええ

ほ

ほい

||

いがらっほい ・ にやけっほい

ぼう

||

あてづっぼう ・ かたっぼう ・ たかづっぼう ・ わらづっぼう ・ よこづっぼう

# 変化

ゆ || い

いかねえ ・ いかねえか ・ いかねべえ ・ いかねえべえ ・ いきあう ・ いきあっちゃった ・  
 いくかなな ・ いくたんび ・ いくだんべえ ・ いくべえ ・ いけねえ ・ いったつき ・  
 いったつけちやう ・ いったちやべえ ・

う || い

いごかす ・ いごかさねえ ・ いごかねえ ・ いごく ・

い || え

ええーだ ・ ええよ ・ ええあんばえ ・ ええあんべえだねえ ・ ええきび ・ ええだべえ ・  
 ええだんべえ ・ ええべえ ・ えかげん ・ えかげんそう ・ えがらっほい ・ えごい ・ えぶい  
 しつきる ・ しつくりけええる ・ しつくるむ ・ しつたくる ・ しつたてる ・ しつちげえる ・  
 しつつぐ ・ しつつる ・ しつつるす ・ しつぱたく ・ しつべがす ・ しゃく(百)

そ || す

うすつき ・ うすつくな ・ うすつき

ふ || す

すつとばす ・ すつとんだ

に || ぬ

ぬげる ・ ぬげろ ・ ぬげたべえ ・ ぬげちやう ・ ぬげちやべえ ・ ぬげつちり

な || ね

ねええけんど ・ ネエエゴ(いなご) ・ ねええしよ ・ ねええしよごと ・ ねええなあ ・  
 ・ ねええだんべえ ・ ねえとり ・ ねええべえ

み || め

めえねえ ・ めええた ・ めええてる ・ めつかる ・ めつかつちやった ・ めつけるべえ ・  
 めつけもん ・ めつけちやった

い || ゆ

ゆうったべえ ・ ゆつちやう ・ ゆつちやった ・ ゆつつける ・ ゆつてみる ・ ゆつてやる

べえ・だべえ・だんべえ

あ

あれべえ  
あれだべえ  
あれだんべえ  
あれんべえ  
あれちんべえ

あいつだけ  
あいつだろう  
たぶんあいつでしょう  
思ったより少し  
極く僅か

い

いいべえ  
いいだべえ  
いいだんべえ  
いかねべえ  
いかねだんべえ  
いきてえべえ  
いきてえだんべえ  
いきつくべえ  
いきつくだんべえ  
いきつかねえべえ  
いきつかねえだんべえ  
いきたかねえべえ  
いきたかねえだんべえ  
いくべえ  
いくだんべえ  
いけねべえ  
いけねだんべえ  
いけるべえ  
いけるだんべえ  
いたかんべえ

良いだろう  
それで良いでしょう  
これは良いだろう  
行くの止めよう  
たぶん行かないだろう  
行きたいだろう  
たぶん行きたいだろう  
行き着くでしょう  
じきに行き着くだろう  
行き着かないだろう  
まだ到着しないだろう  
行き度く無いだろう  
多分行き度く無いだろう  
行きましょう  
たぶん行くでしょう  
行けないだろう  
たぶん行けないだろう  
行けるだろう  
たぶん行けるだろう  
痛いだろう

い

いったべえ  
いったんべえ  
いっちゃべえ  
いっちゃたべえ  
いってくんべえ  
いってみんべえ  
いってんべえ  
いてえべえ  
いてえだんべえ  
いねべえ  
いねえだんべえ  
いるべえ  
いるだんべえ

行ったでしょう  
もう行ったでしょう  
行ってしまおう  
行って仕舞っただろう  
行って来ましょう  
行って見ましょう  
行って見様う  
痛いでしょう  
それは痛いだろう  
居無いでしょう  
たぶん居無いだろう  
居るでしょう  
たぶん居るだろう

う

うच्चやるべえ  
うच्चやちやべえ  
うच्चやちやたべえ、捨てて仕舞ったでしょう  
うच्चやるべえ  
捨てよう  
捨てて仕舞おう

お

おったつべえ  
おったつたべえ  
おったたべえ  
おったてるべえ  
おつつくべえ  
おつつくだんべえ  
おつつぐべえ

建つでしょう  
もう建つたでしょう  
立派に建てたでしょう  
今に建てるでしょう  
何とか間に合うでしょう  
納まりが付くでしょう  
追い付くでしょう

お

おつつぐだんべえ 其の内追い付くでしょう  
 おつつけるべえ 間も無く来るでしょう  
 おつつけるだんべえ、間も無く来るだろう  
 おつつけたべえ 脇へ寄せよう  
 おつつけたんべえ 無理に押し付たでしょう  
 おめべえ 押し付けただろ  
 おめだべえ お前だけ  
 おめだんべえ 悪戯はお前でしよう  
 おれだべえ 此れはお前だろ  
 おれだんべえ 俺だけ  
 おれだんべえ 其れは俺でしよう  
 呼ばれたのは俺だろ

か

かったりいべえ 疲れただろ  
 かったりかんべえ 疲れるでしよう  
 かまねべえ 構わない事にしよう  
 かまねだんべえ 構い立て仕無いだろ  
 かまねでみんべえ 構わ無いで様子を見よう

き

きたべえ 来ただろ  
 きたんべえ 来たでしよう  
 きただんべえ 来たのでしよう  
 きただんべえ 言った通り来たでしよう  
 きてみんべえ 一度来て見よう

く

くちべえ  
 くちだんべえ  
 □で言うだけ  
 同類だろ

く

ぐちだんべえ 又愚痴話だろ  
 くれたべえ 呉ただろ  
 くれただんべえ 割引券呉たでしよう  
 くれたんべえ 言った通り呉たでしよう  
 くれねべえ 呉るの止め様  
 くれねえだんべえ たぶん呉れ無いだろ  
 くれねえべえ あいつには呉れ無いだろ  
 くれんべえ お前に上げ様  
 くわねべえ 誰にでも呉れるでしよう  
 くわねだんべえ 食べ無いだろ  
 たぶん食べ無いだろ

け

けええるべえ 帰りましよう  
 けええるだんべえ 直に帰るでしよう  
 けえったべえ 帰ったでしよう  
 けえっただんべえ もう帰っただろ  
 けえつちやべえ 待たずに帰りましよう  
 けえつちやったべえ もう帰ってしまったでしよう  
 けえつてみんべえ 一度家に帰って見様  
 けえつてんべえ もう帰って居るでしよう  
 けえつたべえ 帰ったでしよう  
 けえつたんべえ もう帰って居るでしよう  
 けえつただんべえ 一人で帰っただろ

こ

こけるべえ  
 こけたんべえ  
 こげるべえ  
 こげたべえ  
 稲こきが出来るでしよう  
 稲こきが出来たでしよう  
 強火じゃ焦げるだろ  
 臭うよ焦げただろ

こげたんべえ  
こげてんべえ

丁度良く焦たでしよう  
臭いな焦げてる様だ

そんたべえ  
そんだんべえ

損でしよう  
其れでは損だらう

さ

さしこみだべえ  
さしこみだんべえ  
さぶいべえ  
さぶかんべえ  
さぶいだんべえ

熱中する人だ  
あの人は熱中するだらう  
寒いだらう  
さぞ寒いでしょう  
其の服じゃ寒いだらう

た

す

ずいぶんだべえ  
すかねえべえ  
すかねだんべえ  
すげえべえ  
すげえだんべえ  
すべっこかんべえ

随分な言い方でしよう  
好きでないだらう  
好きでは無いだらう  
此れ凄いだらう  
其の車凄いだらう  
つるつる滑らかでしよう

ち

ちつとんべえ  
ちつとだんべえ

少し  
残りは少しだらう

せ

せつかちだべえ  
せつかちだんべえ  
せめえべえ  
せめえだんべえ

気ぜわしい人でしよう  
彼は気ぜわしい人だらう  
狭いだらう  
思の外に狭いでしよう

て

できたべえ  
できたんべえ  
できただんべえ  
できちやうべえ  
できちやつたべえ  
できてるべえ  
できるべえ  
できるだんべえ  
できんべえ  
でだすべえ  
でめらあべえ  
でめらあだべえ

出来ただらう  
試験出来たでしよう  
たぶん出来ただらう  
話の合い間に出来たでしよう  
出来て仕舞ったでしよう  
出来て居るだらう  
出来るだらう  
たぶん出来るだらう  
此れ位出来るだらう  
こそこそ畑へ出かけ様  
お前達だけ  
お前達だらう

そ

そうだべえ  
そうだんべえ  
それっちんべえ  
それんべえ  
そんべえ

其の様だらう  
言つた通りその様でしよう  
それっ切りかあ  
そんなに少しか  
損ばかり

そ

そんたべえ  
そんだんべえ

損でしよう  
其れでは損だらう



てめらあだんべえ

西瓜盗人はお前達だろ

と

とれるべえ  
とれただべえ  
とれただべえ  
とれねべえ  
とれねだんべえ

獲れるだろ  
獲れたでしよう  
言う通り獲れたでしよう  
獲れ無いだろ  
今日は獲れ無いだろ

な

なかんべえ  
なしにすんべえ  
なつてるべえ  
なつてるだんべえ

無いだろ  
無かつた事にしよう  
実が成つて居るだろ  
たぶん成つて居るだろ

ぬ

ぬくてえべえ  
ぬくてえだんべえ  
ぬげたべえ  
ぬげたんべえ  
ぬげちやべえ  
ぬげちやべえ  
ぬげちやべえ  
ぬげちやべえ  
ぬげちやだんべえ  
ぬげんべえ

温かいだろ  
此れ着ると温かいだろ  
逃げただろ  
逃げて仕舞つたでしよう  
逃げちやおう  
抜けて仕舞つただろ  
縛り目が抜けるだろ  
抜けて仕舞うだろ  
一緒に逃げやう

ね

ねつかんべえ  
ねつかねべえ  
ねつけねべえ

粘り強いだろ  
寝付かないだろ  
寝付けないだろ

の

ねてるべえ  
ねてるだんべえ  
ねぶいべえ  
ねぶつてえべえ  
ねぶれねえべえ  
ねぶれねえだんべえ  
ねるべえ  
ねるだんべえ  
ねんべえ

寝て居るだろ  
たぶん寝て居るだろ  
眠いだろ  
眠むたいだろ  
眠むれないでしよう  
うるさくて眠むれ無いだろ  
寝ましよう  
もう寝るでしよう  
さあ寝ましよう

のつかるべえ  
のつかるだんべえ  
のつけるべえ  
のつけるだんべえ  
のつきるべえ  
のつきつたべえ  
のつきるだんべえ  
のつこむべえ  
のんこんだべえ  
のまねべえ  
のまねだんべえ  
のまねえべえ  
のまねえだんべえ  
のめねえべえ  
のめねえだんべえ  
のらあだんべえ  
のらあだんべえ  
のんべえ

この荷物も乗るでしよう  
もう少し乗るだろ  
車に早く載せましよう  
頼めば載せて呉れるだろ  
乗り切れるだろ  
乗り切つただろ  
きつと乗り切れるだろ  
押し込で抗議仕様う  
大勢して押し込でしよう  
きつと酒は飲ま無いだろ  
たぶん酒は飲ま無いだろ  
酒は飲ま無いだろ  
たぶん酒は飲ま無いだろ  
納得出来無いだろ  
納得出来無いだろ  
たぶん納得出来無いだろ  
たぶん納得出来無いだろ  
煙でしよう  
たぶん煙だろ  
飲みましよう

のんだんべえ  
のんだんべえ

又飲んだらう  
何処で飲んだらう

みてみんべえ  
みてみんべえ  
みてんべえ

黙って見て居よう  
一度見て見ましよう  
如何なるか見て居ましよう

は

はかいくべえ  
はかいくだんべえ  
はしやくべえ  
はしやくだんべえ  
はしやいでるべえ  
はすっけだべえ  
はすっけだんべえ  
はなつばしべえ  
はばきくべえ  
はばきくだんべえ  
はやけたべえ  
はやけただんべえ  
はんちくだべえ  
はんちくだんべえ

どんどん進むだらう  
助人いるから進むだらう  
乾いて反り返るでしよう  
乾いて反り返るだらう  
嬉くて騒いでるんだらう  
斜めに曲ってるでしよう  
其れでは斜めだらう  
鼻先だけだらう  
威張れるでしよう  
威張ってられるだらう  
瞬化したらう  
もう瞬化したらう  
ちくはぐでしよう  
それじゃあちくはぐだらう

む

むりしたべえ  
むりしただべえ  
むりしたんべえ  
むりしたんだべえ  
むりだったべえ  
むりだっただんべえ  
むりだべえ  
むりだんべえ

無理しただらう  
無理したのでしよう  
相当無理したのでらう  
無理したのでしよう  
無理だったのだらう  
初めから無理だったのだら  
無理だらう  
無理でしよう

ま

ましだべえ  
ましだんべえ  
まずかんべえ  
まずいだんべえ

比較的其の方が良いだらう  
其の方が上位だらう  
気不味いでしよう  
一寸と気不味いだらう

め

めええねべえ  
めええねだんべえ  
めええたべえ  
めええたんべえ  
めええてるべえ  
めええてるだんべえ  
めええるべえ  
めええるだんべえ  
めつかるべえ  
めつかるだんべえ  
めつかったべえ  
めつかっただんべえ  
めつかったんべえ  
めつかっただんべえ  
めつかんねだんべえ

見え無いだらう  
たぶん見え無いだらう  
見えただらう  
二階なら見えたでしよう  
外から見えてるだらう  
たぶん見えてるだらう  
見えるだらう  
其処なら見えるだらう  
見付かるだらう  
其の内見付かるだらう  
見付かっただらう  
見付かったでしよう  
言う通り見付かっただらう  
見付から無いだらう  
たぶん見付から無いだらう

み

みたべえ  
みただんべえ  
みてたべえ  
みてただんべえ

見ただらう  
テレビ見たでしよう  
見て居ただらう  
皆もテレビ見たでしよう

め

めっかるべえ  
 めっけんべえ  
 めっけるだんべえ  
 めっけちやべえ  
 めっけちやだんべえ  
 めっかちやべえ  
 めっかちやだんべえ、見付かて仕舞うだろう

見付かるだろう  
 見付けましよう

たぶん見付けるでしよう  
 必ず見付けてましよう

其の内見付けるだろう  
 逃げたつて見付かるでしよう

や

やあだだべえ  
 やあだだんべえ  
 やあだだつたべえ  
 やっかみだべえ  
 やっかみだんべえ  
 やつたべえ  
 やつただんべえ  
 やつたんべえ  
 やつたんだべえ  
 やつたんだんべえ  
 やつちやべえ  
 やつちやつたべえ  
 やつちやだんべえ  
 やつてたべえ  
 やつてただんべえ  
 やつてみたべえ  
 やつてみただんべえ  
 やつてみんべえ  
 やつてみるべえ  
 やつてるだんべえ  
 やつてんべえ

嫌でしよう

おちんばかりじや嫌だろう  
 嫌だつただろう

嫉みでしよう

それは嫉みだろう  
 お前やつただろう

お前がやつたのだろう

やつたのだろう

お前がやつたのでしよう

やつてしまおう

もうやつて仕舞つただろう

本気でやつて仕舞うだろ

やつて居ただろ

悪い事やつてただろ

試しにやつて見ただろ

試しにやつて見たでしよ

やつて見ましよう

やつてるだろ

前からやつてるだろ

試しにやつて見よう

や

やつてんだべえ  
 やつてんだんべえ  
 やべえ  
 やめんべえ  
 やめんだべえ  
 やめんだんべえ  
 やめたべえ  
 やめただべえ  
 やめただんべえ  
 やめたんべえ  
 やめたんだべえ  
 やめんべえ  
 やめるだべえ  
 やめんだべえ  
 やめんだんべえ  
 やめちやべえ  
 やめちやだんべえ  
 やめてみんべえ  
 やめてるべえ  
 やめてるだんべえ  
 やめちやべえ  
 やめちやだんべえ  
 やめちやつたべえ  
 やめちやつただんべえ、きつと止めちやつただろ  
 やるべえ  
 やるだんべえ  
 やらかしたべえ  
 やらねべえ  
 やらねだんべえ  
 やらねえべえ

お前やつて居るでしよう  
 すでにやつて居るだろ

一緒に行きましよう  
 止めましよう

一緒に止めるんでしよう  
 たぶん止めるだろ

もう止めただろ

止めたでしよう

すでに止めただろ

言われたので止めたろ

止めたのでしよ

止めましよう

今月で止めるでしよ

当然止めるでしよ

たぶん止めるだろ

止めて仕舞おう

たぶん止めるだろ

試しに止めて見よう

今はもう止めて居るだろ

たぶん止めて居るだろ

止めちやいましよう

たぶん止めちやうだろ

止めちやつただろ

きつと止めちやつただろ

やりましよう

やるでしよ

悪い事したのだろ

やら無い事にしよ

たぶんやら無いだろ

やるのはよそう

ゆ

やらねえだんべえ  
 やんねべえ  
 やんねだんべえ  
 やんねでまんべえ  
 やんべえ  
 お前達はやらないだろ  
 やるの止めよう  
 たぶんやらないだろう  
 やら無ないで様子を見様う  
 一緒にやりましょう

ゆっちやべえ  
 ゆっちやだんべえ  
 ゆっちやったべえ  
 ゆっちやっただんべえ  
 ゆっちやっただんべえ  
 ゆっつけるべえ  
 ゆっつけるだんべえ  
 ゆっつみるだんべえ  
 ゆっつみるべえ  
 ゆっつやんべえ  
 ゆっつやんべえ  
 ゆっつやんべえ  
 ゆっつやんべえ  
 言い付けてやりましょう  
 言って仕舞うだろう  
 言って仕舞ったでしよう  
 言って仕舞っただろ  
 言い付けるだろう  
 たぶん言い付けるだろう  
 言って見よう  
 本当の事話してやろう  
 近所に言ってるだろう  
 陰で言ってるでしょう

よ

よかべえ  
 よかんべえ  
 よこさねべえ  
 よこさねだんべえ  
 よさねべえ  
 よさねだんべえ  
 よしにすんべえ  
 よしてまんべえ  
 よすべえ  
 よすだんべえ  
 よっしやべえ  
 良いだろう  
 これで良いだろう  
 返さないだろう  
 たぶん返さないだろう  
 止め無いだろう  
 たぶん止め無いだろう  
 止めに仕様う  
 試しに止めて見様う  
 止め様う  
 たぶん止めるだろう  
 止めて仕舞おう

よ

よっしやだんべえ  
 よっしやったべえ  
 よっしやっただんべえ  
 よっしやっただんべえ  
 たぶん止めるだろう  
 止めて仕舞ったでしよう  
 止めて仕舞っただろ

わ

わけねえべえ  
 わけねえだんべえ  
 わらいちやべえ  
 わらいちやだんべえ  
 わりいべえ  
 わりいだんべえ  
 わりかんべえ  
 容易い事だろう  
 そんな事容易い事だろう  
 笑われるだろう  
 他人に笑われるだろう  
 悪いだろう  
 行ったら悪いだろう  
 皆に悪いでしょう

# 色

赤 赤色・緋色・紅色・朱色・赤銅色・茜色・薔薇色・とき色・牡丹色・桃色  
黄 柿色・橙色(ダイダイ)・蜜柑色・黄色・山吹色・黄金色・芥子色(カラシ)  
緑 濃緑色・緑色(アオ)・薄緑色・草色・鶯色・よもぎ色・浅黄色  
青 紺色・群青色(グンシヨウ)・紺碧色(コンベキ)・青色・空色・水色・玉虫色  
褐 焦茶色・褐色・茶褐色・華色(カバ)・茶色・栗色・小麦色・蔦色・肌色  
紫 ドドメ色・あざみ色・紫色・藤色・すみれ色・小豆色  
灰 鉛色・燻銀色(イブシギン)・鼠色・灰色  
黒 黒色・墨色・薄墨色  
白 銀色・白銀色・乳色(チチ)・白色

動物

動物

- ウシ 農耕用・乳牛
- ウマ 農耕用
- ブタ 家畜、食用
- イヌ 飼犬
- ネコ 飼猫
- タヌキ 飼狸、毛皮用
- ウサギ 飼兎
- シロネズミ 飼白鼠
- ノウサギ 野兎
- ネズミ 家鼠・野鼠
- モグラ 鼯鼠 もぐら
- ムジナ 貉・貉・穴熊
- イタチ 鼬・鼬鼠
- コウモリ 蝙蝠・天鼠

牛は、耕耘機に変わる、乳牛は一時期盛、都市化で衰退、飼育農家は無くなった  
 馬は、軍用に徴発の後衰退、農耕牛に変わるが、耕耘機に迫れ、飼育を見ず  
 豚は、一時期盛、都市化で公害の為衰退、一部農家で飼育を見たが、今日は絶滅  
 犬は、ペットブームで多種、盛大、墓迄出来人間並みとなる  
 猫は、ペットブームで多種、盛大、墓迄出来人間並みとなる  
 狸の飼育は、戦前買人が倒産の為、失敗に終る、以後飼育を聞かず、野生を見ず  
 兎は、実験用、一部で飼育衰退、アンゴラ兎は、毛糸用、戦時中で飼育終る  
 白鼠・大黒鼠・モルモット共に、実験用で現在も一部地域で飼育するも衰退  
 薄茶色、耳長い、草叢に棲息、都市化の為棲息地を失い、絶滅  
 家に住むを家鼠・畑や野原に住むを野鼠、下水溝に棲むを滑鼠、害有り  
 鼯鼠程、全身灰褐色、頭尖、尾短、前肢骨外向、土中の虫を捕食、畑等で見る  
 狸と穴熊と間違る、旧家の蔵等に住む話等沢山残るが、今日では絶滅  
 鼬鼠程、体は細長、赤褐色、窮すと悪臭を放、鼠鶏の血を吸う、最近聞かず  
 前肢指長その間に皮膚が出来翼に変形、聴覚で飛、夜活動する、今も棲息

爬虫類

蜥蜴

(とかげ)

トカゲ

蜥蜴 とかげ

150程、体細長筒、背暗緑褐色、鮮緑色の縦線、四短脚、草叢石隙間に棲息

# 昆虫

## 水中虫

ゲンゴロウムシ 源五郎虫  
 ゲエロバアサミ 田亀・蛙袂  
 カンネンブツ 水鎌切  
 トットロメン 鼓虫・渦虫  
 フウセンムシ 風船虫・水虫  
 アメンボウ 水馬・水蜘蛛  
 イトアメンボウ 糸水馬

4mm程、黒褐色艶、体は防水型、池沼に棲、虫の血を吸、飛ぶ、大小有り  
 5mm程、池沼に棲む、呼吸管有、前脚内に折曲る、蛙等を捕食、飛ぶ  
 4.5mm程、池沼に棲、呼吸管は体長と同長、魚捕食、コイルタール具を好飛来  
 7mm程、水澄しとも云い、黒褐色、水面をくるくる廻り生活、灯火集り飛来  
 1.2mm程、黒褐色艶、夏の夜灯火に集る、体が浮る、コップの中で紙で遊ぶ  
 26mm程、水澄・足高とも云、池・川に棲息、水上をすいすいと走り歩く、雌  
 1.4mm程、水馬より細く小型、川・池に棲、水上を走り歩く、アメンボウの雄か

## 蛙 (かえる)

アカゲエエロ 赤蛙あかがえる  
 アオゲエエロ 雨蛙あまがえる  
 殿様ゲエエロ 殿様蛙  
 食用ゲエエル 牛蛙・食用蛙  
 オカマサマ 疣・蟻・蟻蝻

5cm程、瘦せ型、茜色透明、草叢に棲息、黒焼は寝小便の薬で珍重、近來見ず  
 20mm程、緑色、裏白、八ツ手の葉等棲息、雨前にケロケロと鳴、喘息の薬  
 最も一般的蛙、池沼・水田等の水辺水中に棲息、産卵期ゲロゲロと合唱で鳴く  
 大型、川池沼に棲、外来種、肉食用、皮手袋、戦後食糧難を救う、肉美味  
 大型、暗褐色、背に疣が有怒と毒氣出す、虫補食一定池で産卵又四散して棲息

カガメツチヨ 蜥蜴の事  
 ヤモリ 家守・井守  
 ゼムグリ 山棟蛇・錦蛇  
 シマヘビ 縞蛇  
 アオダイショウ 青大将

越谷で云う、草叢石垣の隙間に棲息、小虫を捕食、チヨは可愛いの意味  
 12cm程、蜥蜴に似、鱗微小七色に光る、暗灰多数の褐色斑、灯火に集る虫を捕食  
 体長15cm程、背は暗緑に黒褐・赤・黄混班、腹黄色赤班、山野棲息、無毒  
 無毒、大1.5ヨ以上、背茶褐色三本の暗褐色筋、腹淡青灰色、人家近棲息、無毒  
 無毒、体長1.5ヨ背褐緑、暗褐の縞、卵・鼠・蛙等捕食、全国山野棲息、無毒

ヤゴ 萬蠻 水蓂・太鼓虫  
ミジンコ 微塵子・水蚤

水中の小動物を食す、蜻蛉・蛍等の幼虫、多種有る、水辺で羽化成虫となる  
一 以下、池沼・掘・排水溝等、長触覚で跳ねる様に泳、金魚の餌、雨後多発生

### 甲虫 (かぶとむし)

セイカチ 兜虫  
クワガタ 鍬形虫  
カミキリムシ 天牛・多種  
カナブン 黄金・金龜虫  
タマムシ 玉虫  
ホオウタル 螢  
テントウムシ 瓢虫  
コクゾウムシ 穀象虫  
コクヌスト 穀盗人  
ヘップリムシ 放屁虫・塵虫  
カツブシムシ 鯨節虫  
カメムシ 亀虫  
アブラムシ 油虫・蚋雅虫

53mm程、黒褐色艶、角が有る、樹液を吸、幼虫は芋虫、腐食土を好、飛ぶ  
45mm程、黒褐色、顎が角の様に伸、幼虫は腐食土好、子供の友達、飛ぶ  
ふんだら 35mm程、青黒色、白の星斑、長い髭を持つとギィギィ音を出す  
ぶんぶん共云う、28mm程、褐色、夏の夜灯に飛ぶ、樗林を好む  
40mm程、体細長、金屬的七色に光る、美しい虫、玉虫色  
10mm程、発光昆虫、夏の夜の風物詩、幼虫はやゴ、清流を好む  
七星瓢虫、8mm程、丸型、頭前胸に隠、赤色黒斑点、油虫食す、多種有り  
3.5mm程、褐色、頭の先が長い口、米麦を食荒する害虫  
10mm程、塵虫に似る、褐色、穀物を食、穀象より害少ない  
細頸虫、身を守る時、腹の下からガスを放つ、塵虫の仲間多種  
7mm程、鯨節等乾物に付く害虫、鯨節削箱等に見掛ける  
1.5mm程、緑色、肩張円錐型、腹面に長口吻、悪臭出す、草食性  
5mm程、緑色、腹面に長口吻、腹甘液出す、蟻と共存、麦の時期に大発生

### 飛蝗 (ばった)

オオト 大名飛蝗  
クルマバッタ 殿様飛蝗  
ネエゴ 蝗・いなご  
ツチネエゴ 背黒蝗  
キチキチバッタ 精靈飛蝗  
バッタ おんぶ飛蝗  
ツチバッタ 背黒飛蝗

12cm程、頭背緑、胴薄黒褐、翅褐斑点、脚橙、オオトジャイロの様に飛ぶ  
45mm程、草原に棲、頭背緑、翅褐、黒斑点、開くと黒帯が車の様に見える、雄  
35mm程、体緑、背翅薄茶、飛び、跳ね、泳ぐ、稲の葉を食、佃煮は珍重  
30mm程、草原に棲、全体銜色、翅茶、褐色の斑点、路端で見掛る  
15cm程、緑色、体細長、頭三角尖先端触角、飛時キチキチ音出す、草叢棲  
40mm程、体細長、緑色、頭三角尖先端触角、草原畑等棲、夫婦連  
30mm程、殿様飛蝗の土色小型、翅薄茶、褐色の斑点、草原に棲  
雄 雌



ドロバツタ 菱飛蝗  
 ハラタチゴンベ 蠮螋・鎌切  
 ツチカマキリ 土鎌切  
 ナナフシ 七節  
 ウンカ 浮塵子・糠蠅  
 ヨコシヨロ 妻黒横道

10mm程、小型褐色、翅黒褐色の斑点、草間に棲、路端で見掛ける。  
 9cm程、緑色、頭三角、胸長伸、喉橙班、前脚鎌形、肉食、草原・田畑棲  
 6cm程、鉛色、頭三角、胸長伸る、前脚鎌形、肉食、草原に棲息、灯火集  
 10cm程、体細長、頭角形、脚細長、草食性、桜等の木に居る、保護色  
 4mm程、口吻で植物の液を吸、良く跳飛ぶ、稲の害虫、多種、大群発生  
 10mm程、緑色、翅先が黒、この名が有る、稲の大害中、大発生灯火に集る

鳴虫

ツンヤ 首切ぎす  
 スイツチヨ 馬追虫  
 ガシヤガシヤ くつわ虫・藪奥咨  
 キリギリス 蝻斯  
 カンタン 邯鄲  
 マツムシ 松虫  
 スズムシ 鈴虫  
 カネタタキ 鉦叩  
 コウロキ 蟋蟀・蟋寧  
 エンマコウロキ 間魔蟋寧

嗜切虫共云、頭尖る、口橙色、首が抜ても嗜のを止め、ツーンツーンと鳴く  
 スイツチヨンと鳴く、くつわ虫の小型、体より翅大、背尖、緑色、草叢に棲息  
 ガチャガチャと鳴く、緑又は茶、背尖、暑い寝苦しい夜、一晩中鳴き通す風物詞  
 40mm程、緑色、前翅黒斑点列有る、草原に棲息、晩秋迄ギーチヨンと鳴く  
 12mm程、薄茶色、白の模様、体細い、リユーリユーと鳴く、邯鄲夢の枕の例え  
 25mm程、薄茶色、白の模様、芒原・草原でチンチロリンと鳴く  
 17mm程、褐色、翅薄褐色で模様、林等暗草間でリーンリーンと良い声で鳴く  
 12mm程、薄茶色、白輪縞、腹黄白色、木でチッチツと鳴く  
 15mm程、黒褐色、草地・人家の床下等棲息、コロコロと可憐に鳴く  
 23mm程、黒褐色光沢、触角体より長、晩夏に美声で大きくコロコロリンと鳴く

蛙蟬蛸 (とんぼ)

オニヤンマ 鬼やんま  
 ヤンマトンボ やんま蜻蛉  
 カゲヤンマ 藪やんま  
 ジュウベ 団扇やんま  
 シオカラトンボ 塩辛蜻蛉  
 クルマトンボ 車蜻蛉

長15cm、林藪の辺を行来、体尾黒褐色黄縞、翅透明、体翅最大、小虫を捕食  
 長13cm、雄腹空色帯、雌腹黄緑色帯、縄張内の川池沼辺を行来、トンボ釣り  
 長14cm、黄色地、黒縞縞、胴尾細長、藪陰を好み棲、暗藪夕方活動、小虫を食  
 長13cm、全体黄色黒縞、尾端に団扇状突起、翅透明、棒の先に開翅水平に止  
 10cm、目暗青緑、胸褐色、尾灰青色、翅透明、麦藁蜻蛉は雌、一番普通数多い  
 長8cm、頭胸尾朱、翅透明で黒褐色の帯、雌鉛色、飛ぶ時車の様に見える

ベニガラトンボ 紅柄蜻蛉  
 ホオタルトンボ 蛍蜻蛉・腰開  
 ヒコウキトンボ 蝶蜻蛉  
 オハグロトンボ 川蜻蛉スミカケ  
 三味線トンボ 灯心・とおすみ  
 アカトンボ 赤蜻蛉

猩猩蜻蛉と云、長8cm、夏茜、頭胴尾真赤、翅透明帯なし、雌は鉛色  
 長8cm、体尾黒色、腰に白色の帯、蛍の様に見える、翅透明で黒褐色の帯  
 長8cm、体尾黒色、翅黒色先端白色帯、後翅幅広黒、蝶様にヒラヒラ飛  
 12cm スミンケ蜻蛉とも云、体翅尾黒色細長、翅黒薄白編目、ヒラヒラ飛ぶ  
 物差・黄糸・青糸等、長30mm程、体色長さ各種色々、尾細長、翅合せて止る  
 秋茜・夏茜、長4cm、頭茶褐色、胴尾赤色、翅透明、稲を干す頃空一面に飛

蟬 (せみ)

ニイニイゼミ にいにい蟬  
 ジイジイゼミ 油蟬  
 ミンミンゼミ みんみん蟬  
 カナカナゼミ 日暮し蟬  
 ツクツクボウシ 法師蟬

23mm程、小型、翅に雲形薄茶色の模様、夏一番早く鳴、音高くチィと聞える  
 40mm程、頭黒体黒褐色、翅茶褐色、シューシューと鳴声は蟬時雨、夏の風物詩  
 33mm程、黒褐色緑模様、翅透明、神社森等、冴て、ミンミンミーと鳴く  
 38mm程、体茶色、胴暗褐の輪班、翅透明、神社寺森等、夕方カナカナカナと鳴く  
 28mm程、頭背黒褐色緑班、腹褐色薄茶輪班、翅透明、オーシツクツクと鳴く

蛸蟬 (かげろう)

フウチヨウ 風蝶・紋蛸蟬  
 クサカゲロウ 草蛸蟬  
 ウスバカゲロウ 薄葉蛸蟬

3cm程、夏暑い年に大発生、凶兆と云、幼虫は赤虫、川の泥の中棲息  
 蜻蛉に似る、翅淡緑色、透明、草叢に棲、優曇華ウドンゲは卵、銀の花とも云  
 蜻蛉に似て翅薄、薄暗を好夕方飛、縁下等乾土に産卵、蟻地獄は幼虫

蝶 (ちょう)

アゲハチヨウ 揚羽蝶  
 クロアゲハ 黒揚葉  
 キイアゲハ 黄色揚葉  
 モンシロチヨウ 紋白蝶  
 キイモンシロ 黄紋白  
 ジャノメチヨウ 蛇の目蝶

夏蝶12cm、翅黄色黒筋が太い、柑橘類に産卵、花の蜜を吸、春蝶はやや小さい  
 12cm、翅黒、薄白筋、柑橘類に産卵、蜜吸、幼虫其葉を食、春蝶はやや小さい  
 春蝶8cm程、黄色に黒細筋、柑橘に産卵、蜜を吸、幼虫は柑橘類の葉を食う  
 春5cm程、体翅白色、翅黒紋薄、夏6cm程、黒紋濃、十字科を好む尺取虫幼虫  
 紋白蝶の黄型、紫雲草・豌豆に産卵、花蜜を吸、幼虫其の葉を食す  
 70mm、泥蝶、草原棲、花・樹液吸に集まる、翅褐色模様、翅たたんで止る

シジミチヨウ

蜆蝶・小灰蝶

2cm 程、灰紫色、翅をたたんで止まる、小花の蜜を吸、路端・庭等に見られる

蛾 (が)

カイコガ

蚕蛾

4cm 繭を破る、淡褐色、雄は飛走、雌は卵が有り、直ぐ交尾、蛹は魚餌

ミノムシガ

大糞虫蛾

4cm、榛・桜・梅等の枯枝に見られる、雄は巢から出る、雌は糞の中

スズメガ

雀蛾

10cm、胴太長、翅開くと三角形、褐色、種類により食樹が異なる、多種

カレハガ

枯葉蛾

褐色、枯葉様に見える、多種、類により食樹が違ふ、幼虫は害虫

シロヒトリ

白燈蛾

65mm、乳白色、腹脇赤、桑・桜等に多、多種、米国白灯取等

ニカメイガ

二化螟蛾

体黄褐、前翅薄黄、縁黒点列、後翅腹白色、25mm、卵は稲に、幼虫は髓虫

◎ 蛾の仲間には他に多種あり

蜂 (はち)

クマンバチ

熊ん蜂・胡蜂

12cm、赤褐色黒縞、大型、肉食、獐猛、尻に毒針有強烈、木屑で大球状の巢造

スズメバチ

仔熊蜂・雀蜂

5cm、赤褐色黒縞、中形、翅淡褐色透明、肉食、団子にして持帰、球状巢

アシナガバチ

足長蜂

3cm、橙色黒縞、翅淡褐色透明、足長い、尻に毒針、軒下に蓮の実状の巢

ダンゴバチ

熊蜂、あぶ科

3cm、胸背黄色帯、他全体黒、体中黄・黒短毛、羽音立、花の蜜を吸、可愛い

ツチバチ

土蜂

15mm、全体黒、白縞、小型、土中に営巢、翅薄黒褐透明、チクチク蜂

ミツバチ

日本蜜蜂

動蜂13mm、桶で飼、洋蜂よりやや黒小型、集蜜力劣る、巢を切取り採蜜土中巢

ヨシズバチ

葦簣蜂・穴蜂

10mm、黒褐色、屋根茅の筒穴に巢、花粉・蜜を集め産卵育児する、単独

蛇 (あぶ)

メクラアブ

牛蛇

29mm、薄灰色、黒縞、背三角の紋、音も無く来、人畜の血を吸う、痛痒い

シオヤアブ

しおや蛇

28mm、暗褐色、腹に橙色の毛の固まり、口で刺す、蠅を捕え血を吸う

ハナアブ

花蛇

15mm、体赤黄色黒縞、翅透明、胴扁平三角形、花の蜜を吸う、一年中いる

ウシバエ

牛虻・牛蠅

15mm、家蠅に似る、黒・黄毛の班、牛の血を吸、幼虫皮下に寄生

蠅 (はえ)

イエバエ

家蠅

6mm 程、便所、腐敗物に産卵、何でも齧・止り・食す、幼虫、蛆虫

キンバエ

金蠅

10mm程、便所、腐敗魚に産卵、青黒光色、腐敗肉・魚を好む、幼虫、蛆虫

オオクロバエ

大黒蠅

15mm程、生態同、黒艶色、黒毛、数少い、腐肉には大量に発生、幼虫、蛆虫

シヨウジョウ蠅

猩猩蠅

3mm程、薄茶黒輪班、酸敗した物好む、成長早く遺伝の実験用に向、幼虫、蛆虫

蚊 (か)

マダラカ

マラリヤ蚊

5.8mm、雌は血を吸う、暗褐色胸白輪班、マラリア・三日熱の媒介

イエカ

赤家蚊

5mm、夜、雌は血を吸う、胸に薄白輪班、水に産卵、幼虫はぼうふうら

シマカ

縞蚊

4.5mm、胸に白輪班、昼雌は、人の血を吸う、デング熱の媒介、刺すと痛搔

ヤブカ

藪蚊

7mm、雑木林藪等に棲、昼雌は、人の血を吸う、大形、刺されると痛く掻い

カトンボ

ガガンボ大蚊

蚊の姥・手長とも云う、35mm程、蚊の超大形、刺さない、幼虫は大きい赤虫

ユスリカ

蝉・揺蚊

10mm、幼虫赤虫、畑野道等で顔前を飛び目に入る、喧い虫、めまとい

ブヨ

蝶・納

3mm程、人の血を吸、湿気多い場所に棲、臭で寄て来る、鼓れると痛搔い

蟻 (あり)

イエシロアリ

家白蟻

8.5mm程、乳白色、湿気・かびを好、家・材木等に付、大害虫、翅が出分封す

ヤマトシロアリ

大和白蟻

5mm程、小型、女王・兵・働蟻に別、9月頃翅が出て大挙飛出す、分封

クロアリ

姫黒蟻

2.5mm程、黒褐色、小型、家の土台下に営巣、翅が出て大挙飛出、害少い

アカアリ

姫赤蟻

2.5mm程、赤銅色、小型、家の中の甘い物に敏感、乾地に営巣、生態黒蟻に同

クロオオアリ

黒大蟻

10mm程、黒、腹薄暗褐の班、良く働、女王雄働蟻で社会生活する、一般的

クロヤマアリ

黒山蟻

15mm乾地に営巣、神社寺等に見る、集団行列は見ない、活発、蟻死骸等掃除屋

蜘蛛 (くも)

シヨロウグモ 女郎蜘蛛  
オニグモ 鬼蜘蛛  
イエオニグモ 家鬼蜘蛛  
ハエトリグモ 蠅取蜘蛛  
フクログモ 袋蜘蛛  
ワカバグモ 若葉蜘蛛

暗い繁みの中に棲む、粘りの強い糸を出す、黄色黒まだら班、蜻蛉蟬等捕食人家の近く高い所に棲む、大型、強力な糸を出、大物を捕食する、暗褐色人家に棲む、夕方蜘蛛の巣を造り、獲物を待つ、何処にも居る一般的蜘蛛薄暗褐色、横飛跳、巣を作らない、敏捷に動き蠅を捕食する木の枝等に、布の様な網を張り、隅に巣を作り、虫を誘い込む水草等に棲、緑色、小型、尻の糸を使って飛ぶ様に動く、敏捷

蚯蚓 (みみず)

デンテムシ 蝸牛・まいまい  
ナメクジ 蛞蝓なめくじら  
ヒイイル 蛭  
メメズ 蚯蚓・みみず  
ウタウタメメズ いいずか蚯蚓  
ボツタ 糸蚯蚓・赤子  
アカムシ 赤虫

3cm程、螺旋の殻、長短触覚二対が伸縮、八手の葉を好み、雨の日活動する全身粘膜、淡褐色、背暗褐の三本帯班、湿潤腐敗材木・雨を好み、殻無し4cm程、吸盤の後に歯、血を吸う、沼・腐田に棲息、吸血を医療に利用する8cm程、丸細長、足無、体赤、白輪縞、群棲、腐敗物好、土壌改良に用う20cm程、いいずか蚯蚓と言う、畑・草の根本等より単独に現る、大型薄朱色5cm程、下水落水中の泥中に群棲、腐敗物を食、淡紅色の糸状蚯蚓、群棲大は、紋蜚蠊の幼虫、小は、揺蚊の幼虫、川の水中の泥に棲、暑い年大発生

暗湿虫

オケラ 蟻蛄  
ハサミムシ 挟虫・尻挟  
ゲジゲジ 蜘蛛  
ヤスデ 馬陸  
ヒメヤスデ 姫馬陸

3cm程、湿土中に棲、穴掘、飛、泳、鳴、赤褐色、全身に金色毛、愛敬好れる3cm程、石、木の根本、塵捨場等多湿を好み、細長、光沢有黒褐色、尻に挟み2.5cm程、15対の細長脚、後脚が特に長、床下や暗湿地を好、腐蝕物を食す赤褐色、5cm程、多節一節二対の脚、薄茶色、石・朽葉等の暗湿地を好み群棲4cm程、胴が細く長、多節、脚は多数短い、赤褐色、驚くと丸まり、臭気発す

ムカデ 百足虫・蜈蚣  
 ソウリムシ 草履虫  
 ダンゴムシ 団子虫  
 便所バチ 足長こうか虻  
 便所コオロギ 竈馬・いとど

8cm、扁平、多節胴、一節一对の脚、大顎から毒液、頭赤、胴赤褐、暗湿地好  
 15mm程、暗灰色、短足、多節楕円胴、多足虫、暗湿地、塵の下、床下等に棲息  
 10mm程、灰色、多節楕円胴、多足虫、暗湿な床下等に棲、驚くと丸く成る  
 2.5cm程、全体真黒蜂似、翅黒褐透明、静飛、便所に産卵、幼虫糞腐物を食す  
 20mm程、暗湿な床下等の土穴棲、雑食、後脚長、跳る、体薄褐色、褐縞班

油虫 (あぶらむし)

ゴキブリ 油虫  
 クロゴキブリ 黒ごきぶり

2cm程、明褐色、翅褐色透明、台所の狭所棲、敏捷不快、雑食多産、群棲  
 3cm程、艶黒褐色、頭大角、精悍敏捷不快、雑食、暗湿狭所好、夜飛来

又虫 (のみ)

ヒトノミ 人蚤  
 ネコノミ 猫蚤  
 シラムミ 虱  
 アタマシラムミ 頭虱  
 ケジラムミ 毛虱  
 ハジラムミ 翅虱  
 ナンキンムシ 南京虫・床蝨  
 イエダニ 家蝨  
 ヤマトダニ 大和蝨  
 シミ 紙魚・雲母虫

3mm程、赤銅色、頭小、体足大、跳る、血を吸う、雌の方が大、蚤の夫婦  
 動物に付く蚤、2mm程、人間には付かない、動物により別種蚤が付く  
 着物に産卵、乳白色、頭小体太、動き鈍、人の血を吸う、掻く不快、繁殖力強  
 髪の毛に産卵、暗灰色、血を吸う、卵も共に薄黒色、繁殖力強、跡掻い  
 2.5mm程、長方形、頭髪には付かず、陰毛に付いて血を吸う、繁殖力強、跡掻  
 鶏等に付く、2mm程、薄白茶色、羽や毛を食べる、多いと鶏が死ぬ、繁殖力強  
 赤茶色、昼は畳・狭所に潜、夜活動、一度に二ヶ所の食跡、血を吸う、跡掻  
 1mm程、薄白茶色、昼は畳・布団等に隠ね、夜活動、人の血を吸、跡掻い  
 3.5mm程、成虫は、鼠家畜等に付く、幼虫は鼠に寄生する  
 8mm程、白銀艶色、背鱗、長錐型、押入・タンス・書棚に棲、衣類本等食す

# 魚

## 魚

コイ	鯉
ドイトッコイ	独獨鯉
フナ	鮒・真鮒
ギンブナ	銀鮒
ゲンゴロウフナ	源五郎鮒
ヘラブナ	へら鮒
ソウギョ	草魚
朝鮮ザッコ	朝鮮鮒
ナマズ	鯰
ヒラタ	おかめたなご
タナゴ	みやこたなご
メダカ	目高
ウナギ	鰻
メソッコ	うなぎの子
ドジョウ	泥鰌
台湾ドジョウ	台湾泥鰌
ライギョ	雷魚台湾泥鰌
セエエゴ	跨、鱧の幼魚
ボラ	鱧・イナ
サアヨリ	鱧・針魚
セツポ	似鯉・さいっぱ
クチボソ	□細・モツゴ
ヤナギザッコ	柳鮠・雑魚
ハヤ	鮠・はえ

真鯉・緋鯉は変種、河川・池沼に棲息、大は1m以上にも成る、料理用鱗が不同で大きい、真鯉の変種、色・味・棲息等同じ

30cmのも居る、背暗緑青、幅広、腹銀白色、鬚無、のつ込み時期良く釣れる

鱗灰銀色、腹金白色、池沼・緩い流の川に棲、雑食、甘露煮・雀焼美味

背中が盛上る、鬚無、産卵期は腹濁黄色、ひれ赤く成る、産卵は夏

琵琶湖から移植、背灰銀色、腹銀白色、背中が盛上る、釣人の名、冬釣盛

食料用の為に楊子河より、移植、戦後利根川水系に多数見る様になる。大型魚

鱒魚、外来種、歯が鋭く他の小魚を食べる、流れの淀を好む、今は鑑賞魚

びんころ・二せい・三せい鯰と大きさを呼ぶ、長鬚、天ぶらが美味、地震に敏感

4cm程、平たい、銀白色、丸型、ピンドウで捕れる、内蔵は苦い、甘露煮

6cm程、鮒似、平たい、産卵期に、赤色が奇麗、冬釣に適す、天然記念物

3cm程、背淡褐色、腹白色肥大、綺麗な池沼・小川を好む、群遊、大小有り

50cm程、円筒形、粘膜で包われ、背黒褐色、腹白、蒲焼美味、海で産卵

5cm程、海で孵化、五月頃川を上、成魚と成、乳白色透明、形は鰻の小型

20cm程、空気を吸う、長く円錐状、口髭、背暗緑色、腹白色、群棲、柳川鍋

大型太目、泥鰌と同じ、20cm程で成魚、口髭、空気を吸う、数少ない

川・池沼に棲息、外来種、大は50cm程にも成る、雑肉食、黒褐色黒斑、鱗孟

25cm程、鱧ススキの当・二才の呼び名、晩春に川を上る、薄茶色、円筒型

頭角型、背部、暗灰青色、腹銀白、晩春川を上る、海魚、河口近淡塩を好む

細長く下顎が長い、5月頃川を上る、透明薄茶色、20cm程、海魚

60cm細長、口鬚2本、背薄褐灰色、腹銀白色、白身小骨多、サイ、川を上る

成魚、80cm口鬚無、鱗後縁黒、暗色の帯斑、ハヤ・イシモロコ・ヤキ

柳鮠ヤナギハヤと言う、10cm形が柳の葉に似ている、鮠ハヤの当才、群棲

15cm、背緑青色、鱗細七色に光る、腹銀白、形柳葉に似、塩焼美味、5月遡上

ハヤ  
ヤマベ  
マルタ

鰻・ウグイ  
赤腹鰻・ハヤ  
鰻・ウグイ

25cm、ヤマベ共云う、背灰褐、鱗細、生殖期腹赤縦線、美味、特大マルタ  
5月頃、川遡上、25cm程、産卵期には赤色赤筋班、関西赤腹、関東ヤマベ  
40cm程、5月頃、遡上、灰褐色、鰻の大物、胴円筒形、白身、小骨多味悪

細蝦 (えび)

エビ  
テナガエビ  
エビガニ  
カワカニ  
カメ  
スッポン  
イモリ

筋蝦  
手長蝦  
ざり蟹  
川蟹  
草龜  
鼈・すっぽん  
井守・赤腹

透明、6cm程、型海蝦に同、流の少い川・池・沼等に棲息、誰でも釣れる  
川に棲息、手足が長く細身、暗褐色、数が少ない、ジストマの媒介寄生  
外来種、池・沼・掘等、濁りの多い所を好む、濃い赤、大きな挟みが特長  
川の水中に棲息、暗褐色、一般に細身、数が少ない、ジストマの媒介寄生  
川・池・沼等に棲息、暗褐色、堅い甲に包まれる、神社の池に奉納、肺有り  
川・池・沼等に棲息、暗褐色、堅い甲、他は軟骨に包れる、養殖して食用  
川・池・沼・掘等、濁りの多い所を好む、腹赤、背黒、四つ足、肺有り

貝

カタツケエ  
タネシ  
マキガイ  
シジミ

泥腐貝・烏貝  
田螺・たにし  
巻貝  
蜆

40cm程にも成る、河川、池沼に棲息、二枚貝、暗褐色、ジストマの媒介寄生  
3cm程、丸く巻く、川・池・沼・水田に棲息、殻は薄い、食用と成る  
3cm程と、細長巻、川・池沼、水中の泥中に棲息、泥の上を這い回る、食さず  
2cm程、川の砂の中に棲息、暗褐色、二枚貝、味噌汁が美味しい、肝臓病の妙薬

鳥

鳥

イヌワシ

犬鷲

山地の森林に棲、高空を飛びながら、兎・鳥・鼠等小動物を捕食、大型鷲





モズ 百舌・鵙  
 ホトトギス 時鳥・不如帰  
 カッコウ 郭公・カンコ鳥  
 ムグリツチヨ僻鵙 鶯 かいつぶり  
 ケケシ 葦切・葦雀  
 メジロ 目白  
 ウグイス 鶯  
 ヤマガラ 山雀  
 シジュウカラ 四十雀  
 ホホジロ 頬白  
 ヒヨウドリ 鶯  
 ムク 椋鳥  
 ツバメ 燕・つばくろ  
 スズメ 雀  
 ヒバリ 雲雀  
 ミソサザエ 鶯  
 シギ 鶯・田嶋  
 セキレイ 鶯  
 カワセミ 翡翠  
 バン 鶯  
 クイナ 水鶏  
 ヒワ 真鶯  
 ツグミ 鶯  
 ジョウビタキ 上鶯  
 ノビタキ 野鶯  
 コマドリ 駒鳥  
 シギ 鳴・田嶋

21cm, 雑食、夏里冬南、背腰灰褐色、腹赤色褐、白色帯、キィキィ鳴く  
 28cm, 春渡、胸翼胸灰暗褐横縞班、鶯巢に産卵、テッペンカケタカと鳴く  
 35cm, 春渡、灰褐色、腹白色、黒色横縞班、他鳥に託卵、カカッコウと冴て鳴く  
 鳥(にお)一丁潜、全体暗褐色、喉頸は栗赤色、冬は淡、浮草巢、魚捕食  
 17cm, 背淡褐色、腹黄白色褐色班、葦原に棲、ケケシケケシと早口に鳴く  
 12cm, 背緑、目の廻り白、喉黄、腹白、低地林棲、美声、虫木実を食す  
 16cm, 背褐緑、下面白色、低高地の笹原に棲、冬は里、ホーホケキヨと鳴く  
 14cm, 頭喉黒、顔頸黄白、胸栗赤、翼尾灰青、山地の林に棲、冬里に下る  
 12cm, 背緑黄色、腹白色、腹黒色縦筋、低林に棲息、籠鳥芸をする、冬里下る  
 17cm, 背栗褐色、胸腹淡褐色、顔黒色、頬白色、鳴声「一筆啓上仕候」  
 28cm, 灰青色、頭毛立つ、山樹林棲み、冬里に下る、波状に飛、鳴声は喧まし  
 24cm, 灰褐色、口嘴足黄色、家近の樹林棲、鳴声騒しい、虫・木の実食  
 17cm, 春渡、背黒色光沢、腹白色、顔喉栗色、尾長割れる、早く飛、虫飛捕食  
 15cm, 顔赤茶色、喉黒色帯、背赤茶色黒班、下面灰色、人家近く棲、穀食  
 19cm, 背黄褐色班、腹白色、草原・畑に巢、高空でビィビィ声高く鳴く  
 11cm, 背焦茶色、暗褐色横縞班、溪流に棲、敏捷美声、虫捕食、冬里に下る  
 27cm, 口嘴・脚長い、翼細長、長距離の渡に適、水辺の小動物を食、冬鳥多種  
 17cm, 黒白色で長い尾、尾が上下に良く動、水辺を好、チョンチョン歩、虫食  
 38cm, 尾短、沼沢辺に棲、木枝に居て、急降下で魚捕食、綺麗な鳥、単独  
 33cm, 全身灰褐色、下尾白色、口根赤色、池沼の草間の陰に棲、歩き泳ぎ飛ぶ  
 29cm, 背褐色黒班、頭灰鼠色、腹白色黄班、足長い、水辺草原棲、冬里  
 燕雀科、頭黒、背暗黄緑色、腹薄黄褐班、冬鳥、チュイーチュイーと鳴く  
 24cm, 燕雀科、背黒褐色、栗色混、顔黄白黒色の班、冬鳥、焼鳥にして美味  
 15cm, 冬原・田・畑等に棲、体黒、翼黒色白色班、紋付に見える雌茶褐色  
 13cm, 夏鳥、頭尾黒、胸栗、腹腰白、ツグミ・ノビタキと鳴く、雌雀似  
 14cm, 背暗赤褐、顔胸橙赤色に黒帯を境腹白、山地林繁棲、美声、虫草木実食  
 27cm, 口嘴足長い、水辺で小動物を食し、翼細長く、渡りに適す、冬鳥・多種

# 子供遊び

改補編

＃4

## 馬力の子遊び

### 馬力遊び

### 遊び方とルール

たこ 上げ  
ぶつつけ  
コマ 回し  
ベエエコマ回し  
バツカン遊び  
アウト鬼  
鬼ごっこ  
陣取り合戦  
押くら慢頭  
馬 飛び  
国取り遊び  
将 棋  
碁 並べ  
軍人 将棋  
迷路遊び  
竹 馬  
ぬつきんぼ  
おっしよる  
しよったこ  
えのみ鉄砲

コマ・ヒコーキ・奴こ・せんみ・とんび・角・うなり等のたこがある、糸目の取り方が技術  
土に円を描き其の中で丸めんこをぶつつけて相手を円の外に出すかひっくりかえせば勝ち。  
鍛冶やっコマで天下取りをする、順次相手をがっほって回し勝負で御家老・天下の位を競う  
べええコマ回し、土俵を作り其の中で二人づつ回し土俵の外に出ると負けてコマを取られる  
艦長1・駆逐艦2・水雷5が組で二組に別れ遊ぶ、バツカンと言って捕え全員捕まると負け  
一人が鬼で他を探す、物置倉等に隠ね先に見付かった者が次の鬼、アウトされると一度鬼  
範圍を定め鬼が追い掛ける、捕まった人が鬼となる  
互のぼっちに本陣を置き二組に別れ遊ぶ、攻める者と守る者を定め本陣の棒に達すると勝ち  
壁や塀で日向ぼっここの時に懐手で押し合う、中に入ると暖いが外の人に押されるとはみ出る  
二組に別れ一人が立ち他が馬となる、他の組が馬乗りになり合おう、潰れると又馬となる  
土に円を描き、あいけんで順を決め、勝つと指で円を書き国を広げる、広い方が勝ち  
将棋盤に互いに駒を高く積み上げる、落すと駒が増える早く駒が無くなった方が勝ち  
あいけんで順を決める、駒を前進相手の陣地に早く全部入ると勝ち、駒が向き合おうと飛べる  
白黒の碁で、早く五個並んだ方が勝ち、三個が二重に並ぶと違反  
大將兵と戦車飛行機地雷の駒がある、駒を合セルールで勝負が決まる大將が取られると負け  
紙を二センチ程に切り長く貼る、ハコ通りの道を書く、最後迄到達して当たり外れ有る  
二本の竹に木を宛縛り其所に乗り遊ぶ、上手な者は片足・鉄砲担ぎ・駆足・鞠蹴り等出来る  
四・五寸釘を土に叩付け相手の釘を倒す、土の柔らかい所で遊ぶ、勝った方がかかったくる  
互いに前に出あいけんをし、負けると直ぐ逃げ捕まえる時しよったんこと言う、捕虜は手を  
繋ぎ助けを待つ、防手が居て助けを妨害する、捕虜にしよったんことタツチすると助かる  
篠竹の筒で榎の実を玉にし撃つ、ポンと音がし飛ぶ空気鉄砲。山吹の茎や紙を濡し玉にする

ロー紙飛ばし  
 玉ころがし  
 竹返し  
 兵隊ごっこ  
 ちゃんばら  
 紙ヒコーキ  
 紙鉄砲  
 ゴム鉄砲  
 ゴム輪鉄砲  
 水鉄砲  
 ゴムカン  
 バチンコ  
 竹とんぼ  
 とんぼおせえ  
 とんぼ釣り  
 とんぼ捕り  
 センミ捕り  
 ビンドウ  
 四つ手  
 とじよう捕り  
 なまずおせえ  
 なまず釣り  
 ヤマベ取り  
 よう釣り  
 すずめおせえ  
 ねえごおせえ  
 刀作り  
 石投げ  
 水あび  
 空缶馬

絵のある蠟紙を、縁台等で手の平でとんと叩き遠くへ飛ばす、勝った方がかつたくる。  
 ビー玉を転がし相手の玉に当て、立った俵投げる。目の高さから落す。当るとかつたくる  
 孟宗竹で長み程の平竹二本程を甲に置き手を返し取り、残の多い方が負け  
 細竹に針金を差しサーベルにし、紙箱に紐を付けた背負い遊ぶ、勲章はタンポポの花  
 棒の刀で戦う、嵐寛十郎・坂東妻三郎・丹下左膳・鞍馬天狗を真似、割箸を手利剣にした  
 広告紙等のやや厚い紙でヒコーキを折り飛ばせる、時間と距離を競う、良く飛ぶ工夫が大事  
 新聞紙等で折り勢良く振り降ろすとボンと音がする、強過ぎると破ける  
 割箸で輪ゴムで縛って作る、玉は輪ゴムで、メートル飛ぶ、互いに撃ち合い遊ぶ  
 人指し指の爪に輪ゴムを掛け手の甲に回し小指でゴムの端を持ち、ゴムを飛ばす  
 節のある竹に錐で穴を開け、篠竹の先に布を巻き筒の中に入れ水の中で引くと水鉄砲となる  
 さん股にゴム管を縛りゴムの真ん中を切り、指ぬきの両端にゴムを結び石を挟み飛ばす  
 輪ゴムを親指と人指し指の間に掛けゴムの間に折った紙を挟み飛ばす  
 竹を薄い平板にし真ん中に穴を開け棒を差す、両手で擦って回すと空に舞い上がる  
 夏、枝の繁みに、夕方トンボが止まって寝る、明るい内に見届けて暗くなつてからおせえ  
 金ヤンマを黒糸で結び竹竿に結ぶ、葦原川端で飛ばすと銀ヤンマがすがる所を捕まえる  
 竹竿の先にもうちを付けて捕る、紙袋に捕ったトンボを入れる、羽根のもちを良く取る  
 長い竹竿の先にもうちを付けて捕る、センミは逃げる時に小便を掛ける顔に掛かるので注意  
 夏、川でガラスで出来たドウケで雑魚を捕る、餌はぬかを炒ったものを用うる  
 夏、川で網の四隅に竹を張り柄を付け紐で川の中に沈める、時間を見て引き上げて魚を捕る  
 秋、田の水が引ける頃、用水の残り水の所を網ですくい捕る、ざつこやエビ等が捕れる  
 掘りの土手になまずの横穴がある、穴の中にいるのを手で捕せめえる、エラに針が有り痛い  
 ぼかん釣り、竹竿に糸と釣針と重しを付け、うたメズの餌で釣る、雨の後良く釣れる  
 五月頃水門が少し開いている時ヤマベが飛び跳ねるのを網ですくう、同じ所に飛んで来る  
 よう釣り、竹竿にテグス糸を結び浮かし、重り・釣針を付け、餌はメメズ、ごみ溜めで取る  
 ふるいの片方を棒で持ち上げ餌を撒く、棒に糸を結び遠くで待つ、すずめが来た糸を引く  
 秋、手拭いで袋、二センチ程の竹を口に縛る、朝露のある田んぼでねえごをおせえ  
 ねずみもちの若枝の節のない所に筋を付け引くと皮の鞘が出来る、刀にみなして遊ぶ  
 川面に石を投げる三段に石がぼんぼんと水面を飛ぶ、多く跳ねて飛べば勝ち  
 夏、川の浅い所で遊ぶ、時々水死が出るので危険である  
 二個の空缶に穴を開け紐を付け、紐を持つて歩く、少し背が高くなるのが嬉しい

伝書 鳩  
王冠勲章  
勲章 草  
どろぼう草  
どろぼう草  
かんしゃく玉  
バクダン  
ピストル  
ポンポン船  
樟脳 船  
石 板  
かき 石  
ゴム粘土  
泥 粘土  
型 取り  
吹き 矢  
日光写真  
知恵の輪  
拡大 機  
筍うめぼし  
七 夕  
まこもの馬  
初 午  
くんち  
けええどり

飛ばした鳩が自分の鳩小屋に帰って来る喜びは何物にも変え難く、学校へ行く前の仕事  
ピールの王冠の裏のコルクを外し、シャツの表に王冠裏からコルクをはめると勲章となる  
やえむぐら、菊の花の様な葉の草で服に良く付き勲章に見える、褒美に付けると大変喜ぶ  
秋、いのこずちの実、刺のある実が丸く大きいので投げて遊ぶ、服に当たると取れない、付けっこして遊ぶ  
めなもみの実、刺のある実が丸く大きいので投げて遊ぶ、服に当たると取れない  
一センチ程の紙の玉で中に火薬と小石が入っている、強く叩付けるとバーンと大きな音がする  
二センチ程の円錐形の鋳物二個を紐で合せ、煙哨玉を入れ落すとバーンと大きな音がする  
ブリキのピストルで連続にバーンと鳴らす、百連発の巻き煙哨玉を使う、臭いが懐かしい  
ブリキの船でボイラーをローソクの火で熱すると、ポンポンと音がし湯を押し出して走る  
セルロイドの船に樟脳を載せるとシーシーと音がし、水を弾く力で走る、縁日が懐かしい  
黒い粘板岩の薄い板で回りに木で枠がしてある、石墨で書く、布で消し何度も書ける  
黒い粘板岩の薄い板で回りに木で枠がしてある、石墨で書く、布で消し何度も書ける  
長方形に切った一センチ程のロー石で、固い土やコンクリートに書くと白く描ける  
色々の色があり、手で粘って自由に形を作る。細長く下げ玉がつたわり落ちる遊び等ある  
素焼きの型に粘土を押し付け抜くと形が出来る。金粉や色粉を振り掛けて作る。型が高価  
素焼きの型にタバコの銀紙を沢山集め溶かして流し込み固めて形を作る。珍重された  
紙の筒と、紙を斜めに先を尖らせて丸め筒の太さに合せて切り矢にする、先に針を付ける  
硫酸紙に黒く絵が有るものを感光紙の上に載せ枠板で押えて日光に曝す、三分程で感光する  
焼の入った堅い針金で、付けたりはづしたりして遊ぶ、知恵を絞るので此の名がある、市販  
片方を止め片方に鉛筆を立て、止めに近い方で絵の形を擦ると大きな絵が書ける。市販  
筍の皮に梅干しを<sup>く</sup>一個入れ三角にして紙にくるみ畑で一晩夜露に当てる、赤くうまい  
夏、七夕の朝、芋の葉の露玉を集めて墨を擦り短冊に字を書き笹に下げる、字が上手になる  
七夕に天駆けると云うまこもの馬を作るが、終るとこの馬を引いて遊ぶ  
てえこを叩いて一晩おこもりをする、翌朝近所の家に絵馬を持って御灯明錢を貰いに行く  
旧の9月二日お宮で一晩おこもりをする、翌朝にはあんびん餅を食べる  
秋、水が引けてから掘りの溜りの水をかいたすと、魚が沢山取れる。数人共同で獲る

女の子遊び

女遊び

遊び方とルール

なつこ  
 おはじき  
 鞠 つき  
 ままごと  
 母さんごっこ  
 お人形ごっこ  
 石 けり  
 ゴム飛び  
 縄 飛び  
 グリコ  
 花一文目  
 通うりゃんせ  
 かくねっこ  
 影 ふみ  
 あや取り  
 せつせつせ  
 ずいずい  
 かごめかごめ  
 影 絵  
 名刺遊び  
 馬 飛び  
 迎え 鬼  
 子を取り  
 めりえ  
 笹 ぶね

おてだまの事、ずすが一番良い、小豆に鈴を入れるのが上等品、美麗な端布が喜ばれる。ガラスの平たい粒を爪で弾き粒に当てる、粒と粒の間を爪が通れば勝つ、勝てばかつたくる。歌いながら手鞠をつく、続けは何回もつける、失敗すると交替する。歌の調子に合せる。軒下等でござを敷き座って遊ぶ、葉っぱが食器で食事やお茶の時の口真似をして遊ぶ。母親の言葉や仕ぐさや口を真似て遊ぶ、お客・お出掛け・ご飯・父親との会話等。お人形さんの着せ替えや世話をする真似をする。一人でも遊べる。土に丸を書き番号を付ける、石を丸に投げてけんけん飛びで取る、丸を踏むと失格して交替。ゴムヲ張り次第に高くしながら飛ぶ、男飛びと女飛び（大阪飛びとも云う）がある。縄を二人で回す、他の者が入って縄を飛ぶ、失敗すると外で待つ上手な人は最後迄飛べる。ぐう・ちよき・ばあにより、グリコ・チョコレート・バイナップルと言いなながら階段を上る。二組に別れ手を繋ぎ花一もんめと歌い欲しい子を指す、あいけんで勝つとその子を貰う遊び。二人がトンネルをつくり、他の者は通りゃんせと歌いながら潜る歌い終った時捕まえる。鬼が、かくねている他の人を探す、初めに見つかった人が鬼となる。夕方遊びの帰り道に、互いに相手の影を踏み合う。紐を輪にして両手で繰り形を作り、それを交互に指で取り合い別の形ちを作る。向き合い童謡を歌いながら、お互いに相手の手に合わせて調子を取る、動作が合う様にする。けんこを並べ親が、茶つぼの歌を歌う、止まった所の人が次の親。輪となり鬼が目隠して中に入る、かごめかごめと歌いながら回る、鬼が後の人を当てる。夜、裸電球の近くで、手で色々の形をし障子に影を写す、きつね・うま・狼・船頭さん等。壁に絵の有る紙を当て、遠くに飛んだものが勝ち。高さ・風・紙の曲がりて技術を競う。一人が立ち他が胴につかまり馬となる、他の組が馬乗りになりあいけんをする負けると交代。アウト鬼と同じ、鬼の後ろからアウトと言いつつタッチすると、もいちど鬼、見付かると交替。親が立ち親の後ろに子が多勢掴まる、鬼が後ろに回り子を取る、親も手を広げて妨害する。市販のもので人形や子供の絵に色を塗り遊ぶ。夏、葦の葉で笹舟を作り、流れのある小川に浮かべて早さを競う、沈没しない様に折る。

おはじきあて  
折紙  
れんげ草首飾り  
ブランコ  
木のぼり  
着せ替え人形  
笹 笛  
草 笛  
なつこぶし取り  
蓮の実取り  
椎の実取り  
ニッキ  
めくり  
まこもはんこ  
ほうせんかの実  
栗 草  
風 車  
ほうず遊び  
ねこじやし  
からから鈴  
たんぼぼ遊び  
かやつり  
草 相撲  
南天はんこ  
ほうずき  
海ほうずき  
いろはかるた  
羽根つき  
双 六  
福わらい

おはじきを両手に持ち手の中の数当て、後ろで見えない様に替える、当たると取られる  
市販の千代紙で色々の形に折る、舟・鶴・鞠・風船・犬・椅子等  
春、れんげ草の花を繋げて輪にして首飾りにしたり、花束を作る、クローバーでも出来る  
木の枝に縄の端を二ヶ所ゆわき下にセシチ程の板を置いて腰掛けブランコにする  
いちじく・ざくろ・椎の実・柿・どめ等実る時期には男女の別無く木に登り実を取った  
紙で作る、頭首を作り次に衣裳を色紙で作る、何種類も作り着せ替えて遊ぶ  
春夏、葦の先を抜き中の心を取り除いて吹くとチィィと鳴る、麦の穂・熊笹等  
笹の葉・葦の葉・木の若葉・芋の葉・そらまめの葉等を丸めて吹くとピー・プー等と鳴る  
秋、池や沼に自生する菱の実を網や棒で浮草を引き寄せて取る、乾かして食べる  
秋、水が引けてから泥沼の中に腿迄泥んこになって取る、渋味があった生臭い味で懐かしい  
秋、椎が実ると椎の木に登り木の上で食べポケット一杯入れて来る、煎ると尚うまい  
根つき・紙ニッキがある、市販で噛むと何時迄も辛くてスウスウした味で郷愁をそそる  
一センチ程の紙を巻き<sup>30</sup>程当たりを入れ間を置き薄い紙で貼る、当たると大きな芋羊かん  
秋、枯れたまこもの根の近くに固まりが出来ると黒い粉が出る、此れを押し合ひ遊ぶ  
秋、ほうせんかの実を取って来て、跳ねらかして遊ぶ、静かに取って来ないと跳てしまふ  
夏、ちからしばの穂、紫茶色の穂を抜き、先から逆さに指でしごく<sup>30</sup>と栗のイガの様になる  
ひいらぎの堅い葉を指で軽く持ち、息を吹き掛けるとくるくると回る  
ぎしぎしの種を集め、道に横切る様に撒き散らす、初めに踏んだ人がほうずになるとはやす  
えのころ草の穂で猫をじやらすと、面白い様にじやれる  
なすなの実(ペンペン草)を取り実を少しづつ裂く、振るとからからと鈴の様に鳴る  
たんぼぼの綿毛を手を持ち綿毛を一つづつ抜いて吹くと良く飛ぶ、風に乗ると面白い  
かやつり草の茎を取り茎を裂き口の字にすると、かやが釣れたと言つて遊ぶ  
おおばこ(ゲエエロツバ)の花茎を噛んで柔らかくし、互いに引き合い切れた方が負け  
南天の葉の落ち口が三この丸となる、手に押し付けると跡が付くので、南天はんこ言う  
ほうずきの実を柔らかくして種を出し水洗いし、口の中で膨らし潰すとキュウート音がする  
露天店で市販している、海草の一部で口の中で膨らし潰すとキュウート音がする  
犬も歩けば棒に当たる、市販のものを使う、沢山取ると勝ち、褒美は蜜柑や南京豆  
絵の書いてある桐の羽子板で、羽根はむくの実に鳥の羽根を刺して作る、市販で沢山ある  
紙に色々絵を描き線で繋ぎ最後に上りを書く、犀ころで数を決め、数だけ進み上がれば勝ち  
おかめの顔の目・鼻・耳・口・まつげが取れていて、目隠しをしてそれらを置く

うつし絵  
色水あそび  
ゲエエ口取り  
水 すまし  
のびろ蓑  
草むすび  
ヤマベ釣り  
紙芝居  
しんこ餅  
鮎餅  
笹の新芽  
目はじき  
下駄かくし  
天気うらない

紙のシールを管めて手に貼る、そろそろと上の紙を剥がすと、色付きの絵が現われる。沢山のコップに水を入れ、朝顔やしその葉や色紙を入れると色々の色の水が出来る。あかまんまの赤い枝で、ゲエエ口こいこいこいこいこい親の乳よりまだうめえぞ、と言って釣る。夏・コップにミミリ程の紙を入れ沈むとつかまり一緒に浮いてくる、ミズムシ泳ぎ飛ぶ。草で紐を作り、のびろを差し込み腰に巻き付けて浦島太郎の腰蓑にする。良く遊ぶ草むらの草を縛って置き、鬼ごっこや駆逐水雷で遊ぶ、夢中になって来ると転ぶ。釣りの餌に三味線トンボを捕まえ針に付け水面に浮かせて流すと面白い様に良く釣れる。割箸の水鮎を買う黄金バットとストリー物の絵で弁士の叔父さんが上手で毎日待ち遠しいしんこ餅を手で、挟みを使い面白い事を言いながら上手に形を作る、色を付けて出来上がる。温かい鮎を丸め細竹で膨らし竹べらで形を作り色を付ける、鳩・狸等お好みに応じる。笹の新芽の先を抜き、亀・鶴や色々な形を編む。かやつり草の穂の茎をセンチ程に切り目の上下に挟む、目が大きく開き変身して楽しむ。下駄を隠す、鬼が探し全部見つけると早く見付かった者が鬼となる。下駄を空に放り、表が出れば晴れ裏が雨と占う、「明日た天気になあめれ」と言って放る。



A、今日は、いいあんべえだな、こしげんちじあや、何もかわりはねえかな。

B、こんとこ、なんともねえが、ばさまが、しくたくしくたくさってるよ、年だからしゃあねえよ。おめんとこも、どっか悪いと聞いてたが、其の後のあんべえは如何うだね、見たとこ如何でも無え様だな。

A、俺らあ、もう何処もどうでもねえよ、こん通りびんびんしてるがよ、ばあさまが、こないだから風邪をひっこんで、くうくうしてるがね、なあに、てえしたことはねえよ、三日もすりやあ良くなるべえ。そりや、でええじにして医者に掛けねえといけねえな。

A、其りやそうと、おめつちのあんちゃんは、でえがくにくかったってなあ、目出てえこった、御祝いと言っちゃんあ、何だけど、ちつとんべえでこつばづかしいんだけど、きもちだけ持ってきた、うけてくいせえ。

B、あんれまあ、そいつはどうも有難とう、さんぜえかけてすまなかつたな、俺らあめのやろつこは誰に似たんか、勉強が好きで、学校では誉められてたんだよ。でえがくに行くとなると、ぜにがてえへんだがよ、此れもしょうがねえや、せがれの為だもんな。

A、俺れんちのあまつこと一緒の、おめんちのねえちゃんは、どげえいしてるね、でっかくなつたべな。

B、俺らああのあまつこは、こしげの女学校にせわんなってるよ、勉強が好きで一番だとよ。子供らは誰に似たんかなあ、俺らあもかかあも、おてんてんはだめで、学校の方は、ええほうでねえのによ、とうなつてんだべえな。

A、何に言つてんだ、おめらつちは皆んな頭のええたちでねえか、せなはでえがくだし、あまつこは女学校一番だし、言うことなしたべえ、此れからが楽しみだんべえ、兎も角お目出でとう。

## 終りに

改補編を記すに当たり、依り解り易く、越谷弁を思い出す資料として、「方言なまり集」を並べ替えて見た、執筆が始まると、眠れぬ夜が続く、こんな時思い出す俣に紙とペンを枕元に置いて、書き留めて記したものである、又昔の友人や知人との語らいの中より、越ヶ谷弁を収録し加筆して出来上がった。

整理している間も続々と思いつかれて、何度も編集し直し加筆した。又、別の友人と接触すれば、もっと沢山の言葉が見つかるかも知れないが、一応此の辺で止めて発刊する事とした。又、次の機会に再版する時に、加筆したいと考えている。

ともかくも一応まとめるに当たり、越谷市郷土研究会会長 小島 誠先生初め、先輩諸氏、会田圭氏御夫妻の御懇切なる御協力と、貴重なる御意見に與する所大であります。ここに編集を終るに当たり紙上を以って厚く御礼を申し上げます。

平成四年 七月十八日

越谷市郷土研究会  
理事 山崎 善 司

題名	再版日	編者	発行所
越ヶ谷言葉 方言となまり集 改補編	平成四年 七月十八日	越谷市弥生町 山崎善司	越谷市弥生町 山崎企画工房